

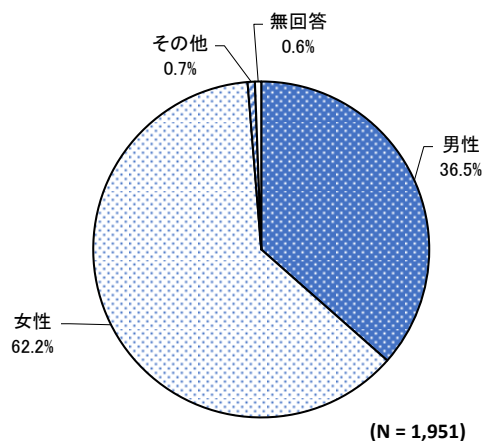
Ⅱ 若者調査

第1章 回答者属性（フェイス項目）の概要

性別 問55（F1）

■あなたの性別をお答えください。

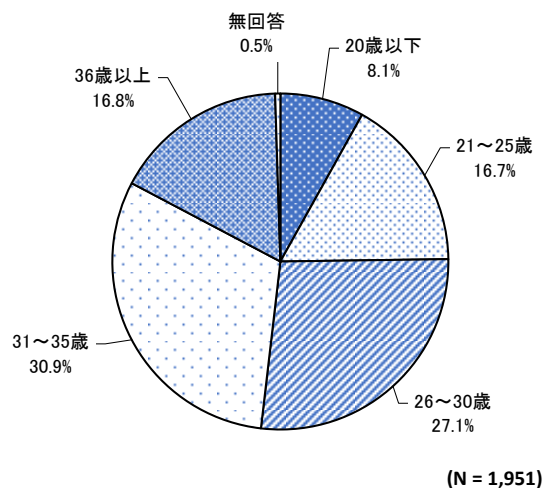
	回答数	構成比
男性	713	36.5%
女性	1,213	62.2%
その他	14	0.7%
無回答	11	0.6%
全体	1,951	100.0%



年齢 問56（F2）

■あなたの年齢をお答えください。

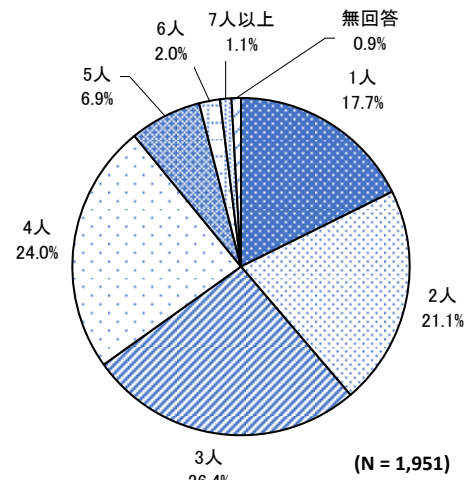
	回答数	構成比
20歳以下	158	8.1%
21～25歳	325	16.7%
26～30歳	528	27.1%
31～35歳	603	30.9%
36歳以上	327	16.8%
無回答	10	0.5%
全体	1,951	100.0%



同居人数 問 57 (F3)

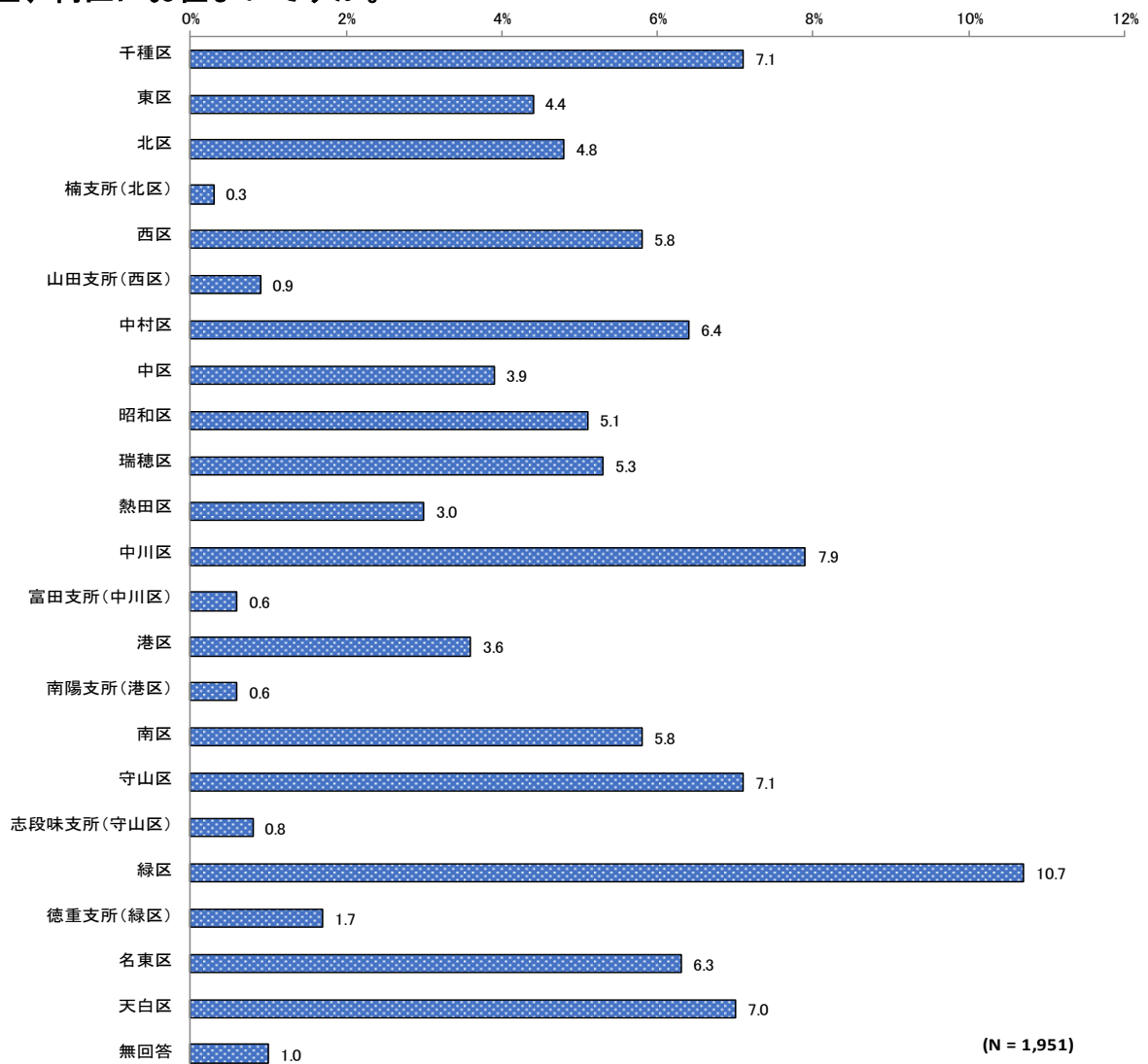
■現在、あなたといっしょにお住まいの方の人数は何人ですか。

	回答数	構成比
1 人	346	17.7%
2 人	411	21.1%
3 人	515	26.4%
4 人	468	24.0%
5 人	134	6.9%
6 人	39	2.0%
7 人以上	21	1.1%
無回答	17	0.9%
全体	1,951	100.0%



居住区 問 60 (F4)

■現在、何区にお住まいですか。



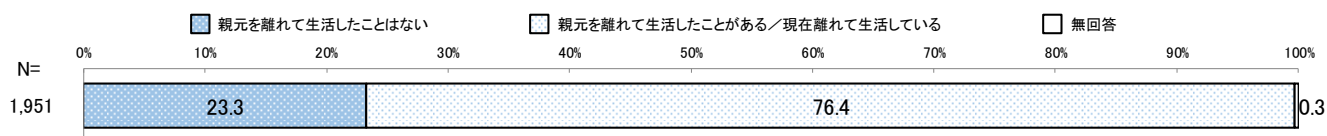
第2章 質問

～日常生活に関する質問～

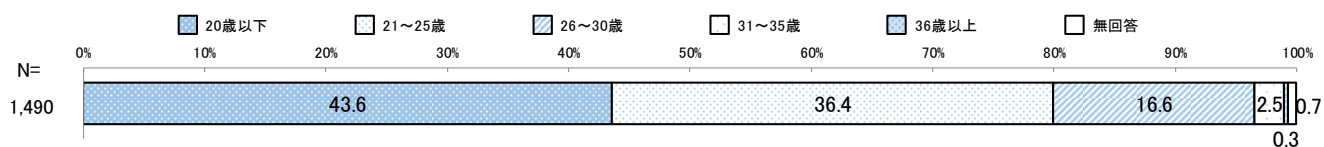
親元を離れての生活について 【問1】

■親元を離れて生活したことがありますか。（1つ）

- ◇ 全体では、「親元を離れて生活したことがある／現在離れて生活している」が76.4%である。
- ◇ 親元を離れた年齢では、「20歳以下」が43.6%と最も多く、次いで「21～25歳」が36.4%となっている。



<親元を離れた年齢>

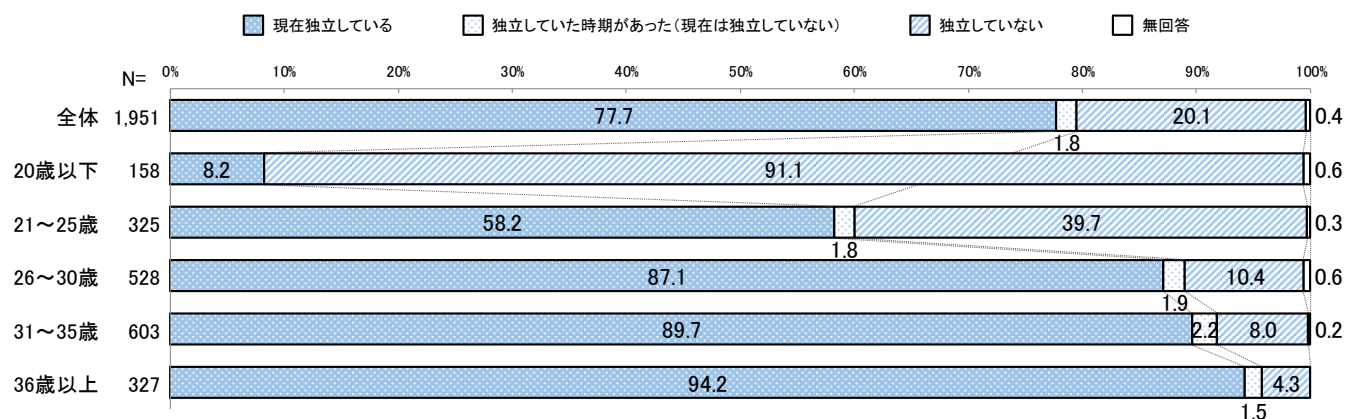


あなたの経済状況について

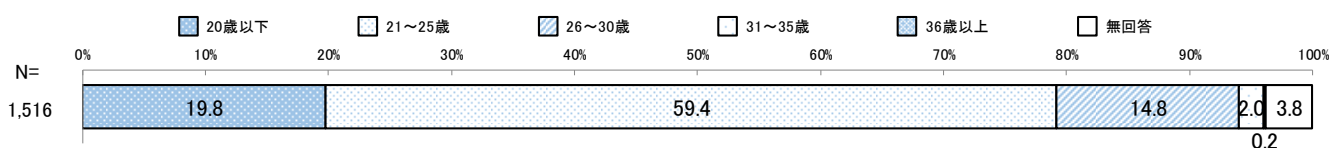
【問2】

■現在、あなたは親から経済的に独立していますか。（1つ）

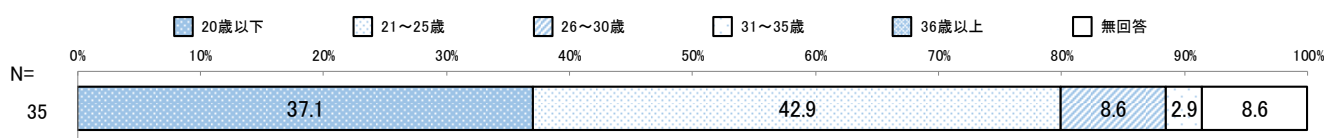
◇ 全体では、「現在独立している」が77.7%と最も多く、次いで「独立していない」が20.1%となっている。



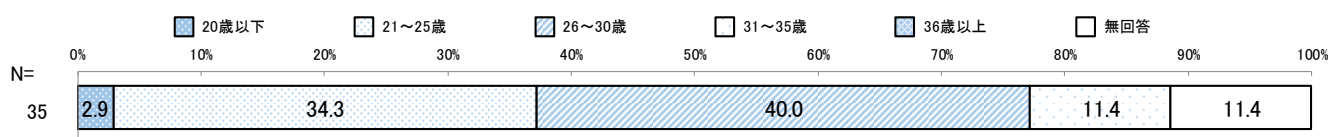
「現在独立している」を選択した方 ＜何歳の時から独立していたか＞



「独立していた時期があった（現在は独立していない）」を選択した方 ＜何歳の時から独立していたか＞



＜何歳まで独立していたか＞

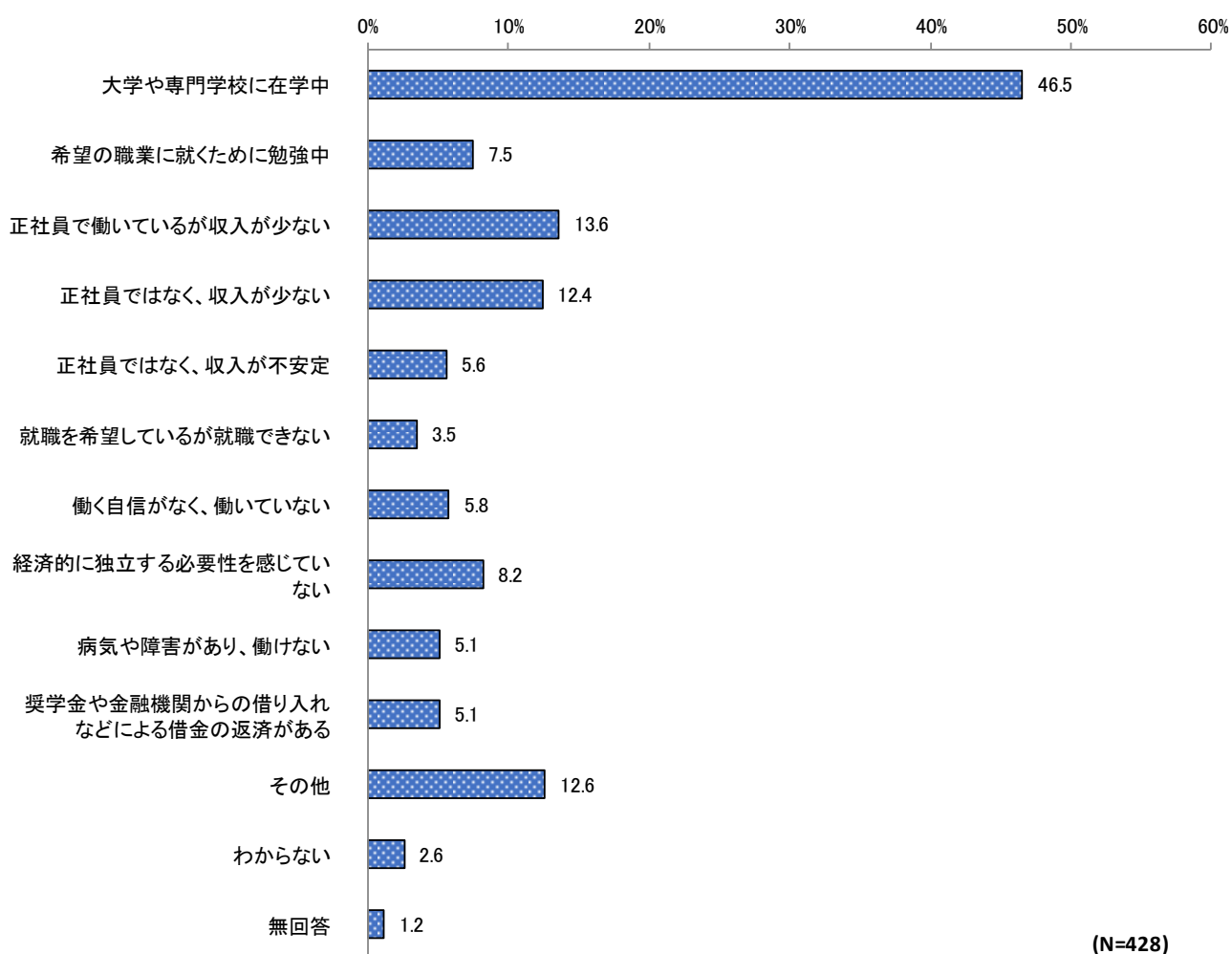


経済的に独立していない理由について

【問3】

■現在、経済的に独立していない理由は何ですか。（複数回答）

◇ 「大学や専門学校に在学中」が46.5%と最も多い。



【前回調査との数値比較】

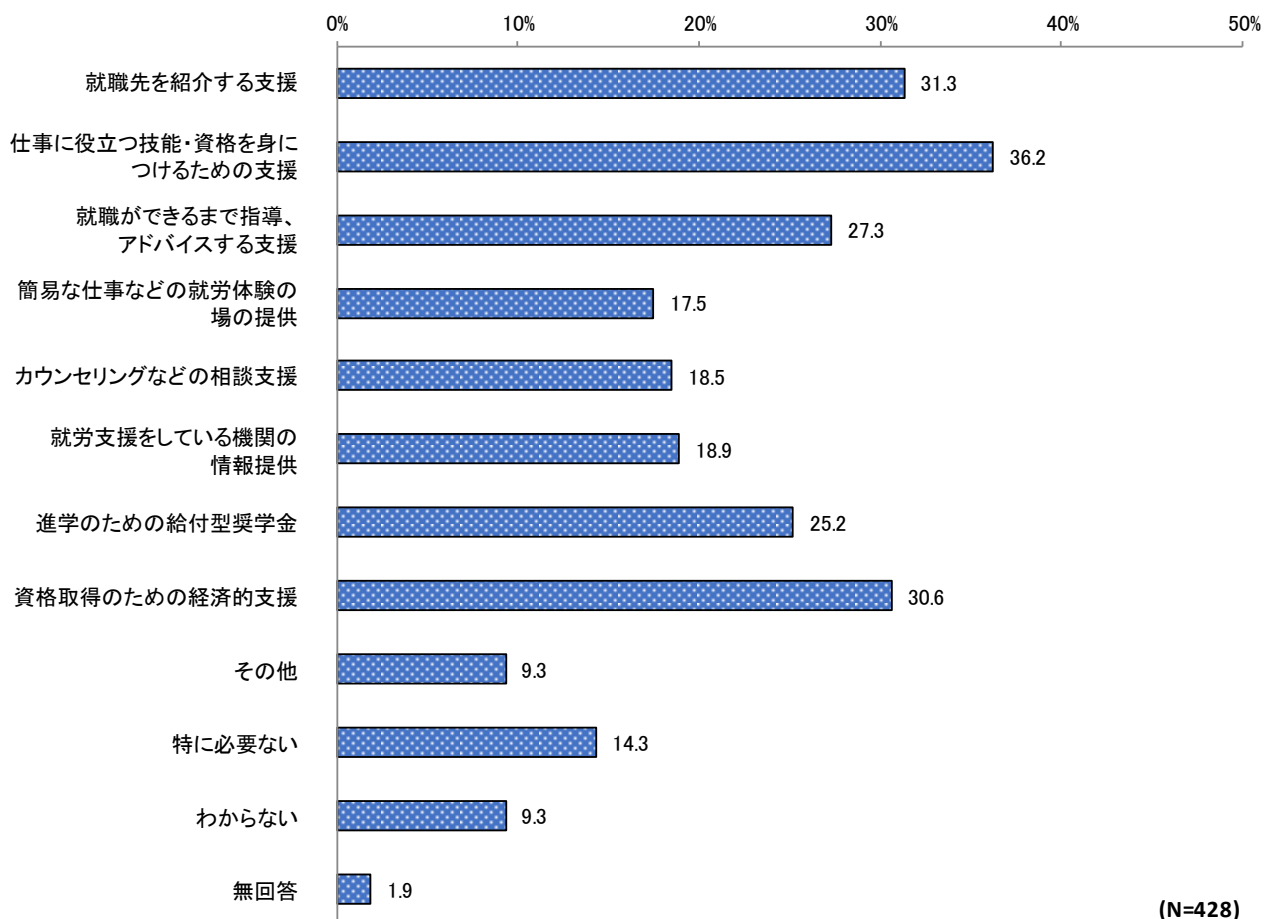
	就職を希望しているが就職できない		
	平成30年	令和5年	変化量
全 体	5.9	3.5	▲ 2.4

働く自信がなく、働いていない		
平成30年	令和5年	変化量
6.3	5.8	▲ 0.5

経済的に独立するのに必要な支援について 【問4】

■経済的に独立するために、あなたが必要だと思う支援は何ですか。(複数回答)

◇ 「仕事に役立つ技能・資格を身につけるための支援」が36.2%と最も多く、次いで「資格取得のための経済的支援」が30.6%となっている。



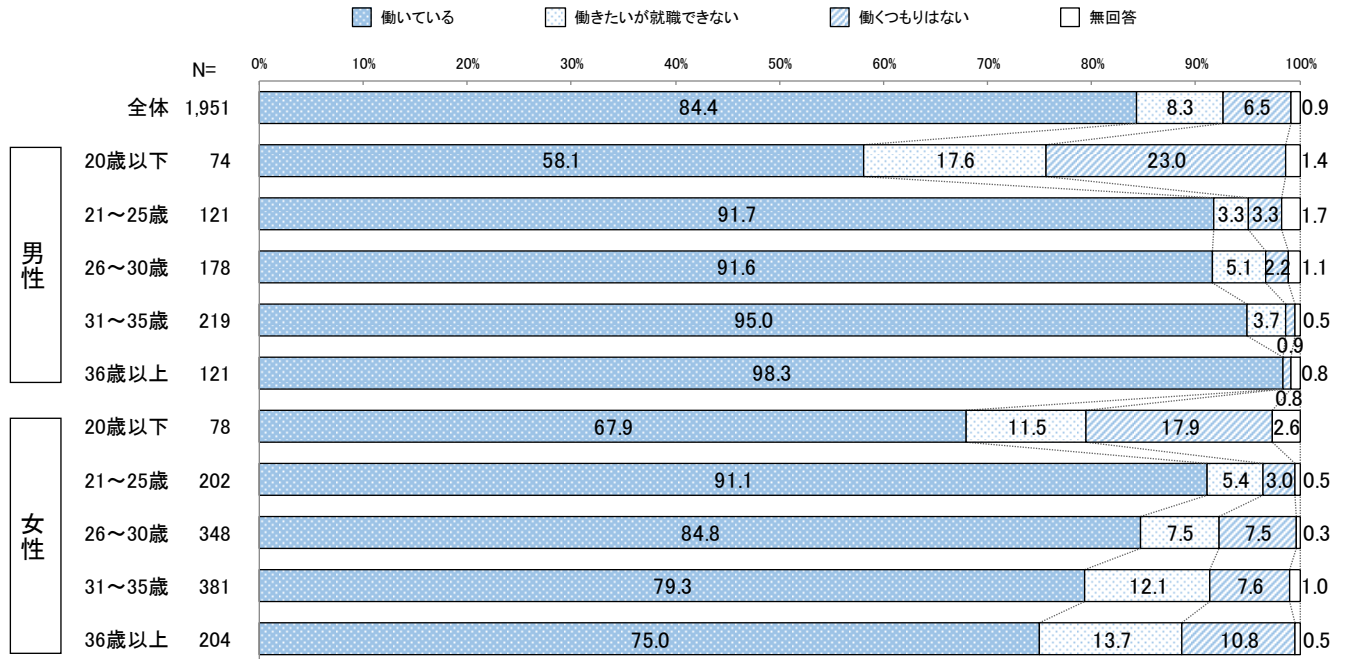
(N=428)

～仕事に関する質問～

現在の就業状況について 【問5】

■現在働いていますか（アルバイト等も含む）。（1つ）

- ◇ 全体では、「働いている」が84.4%となっている。
- ◇ 男性の「働いている」と回答した割合では、「36歳以上」が98.3%と最も多い。
- ◇ 女性の「働いている」と回答した割合では、「21～25歳」が91.1%と最も多い。



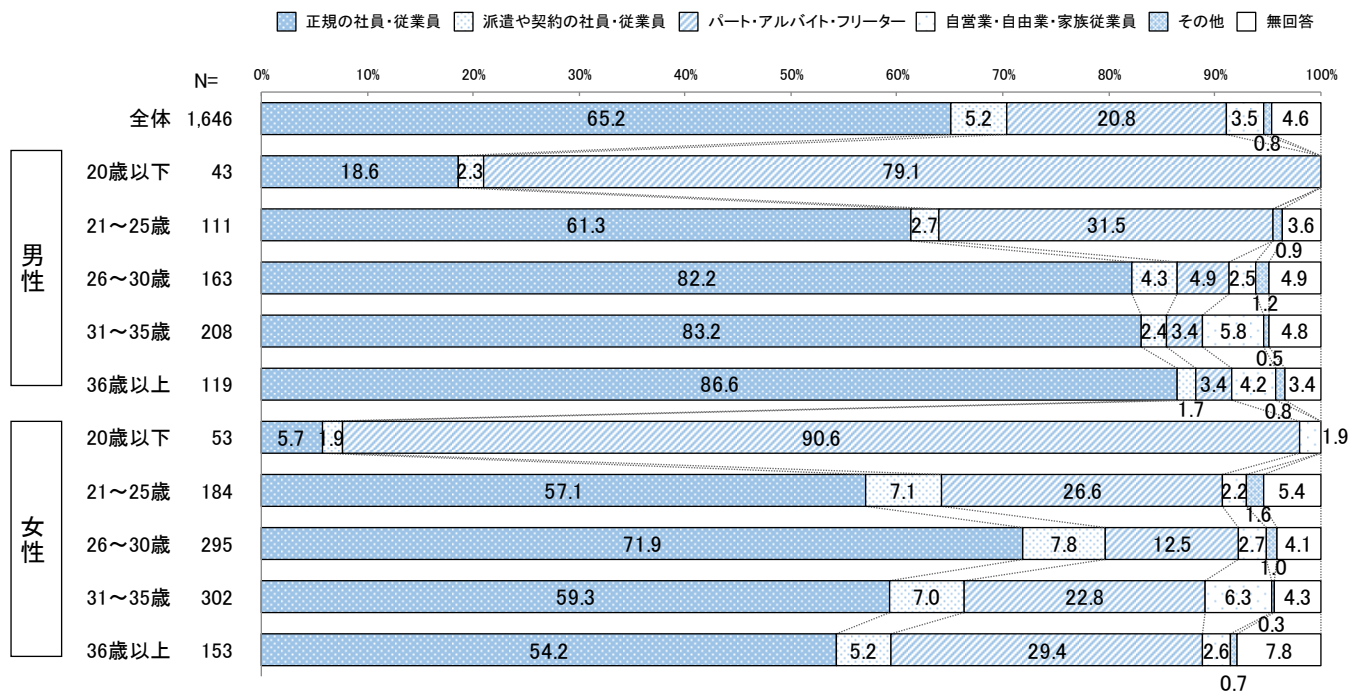
【前回調査との数値比較】

	働いている		
	平成30年	令和5年	変化量
全 体	82.5	84.4	1.9

現在の雇用形態について 【問6】

■現在の働き方（雇用形態）は何ですか。（1つ）

- ◇ 全体では、「正規の社員・従業員」が 65.2%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・フリーター」が 20.8%となっている。



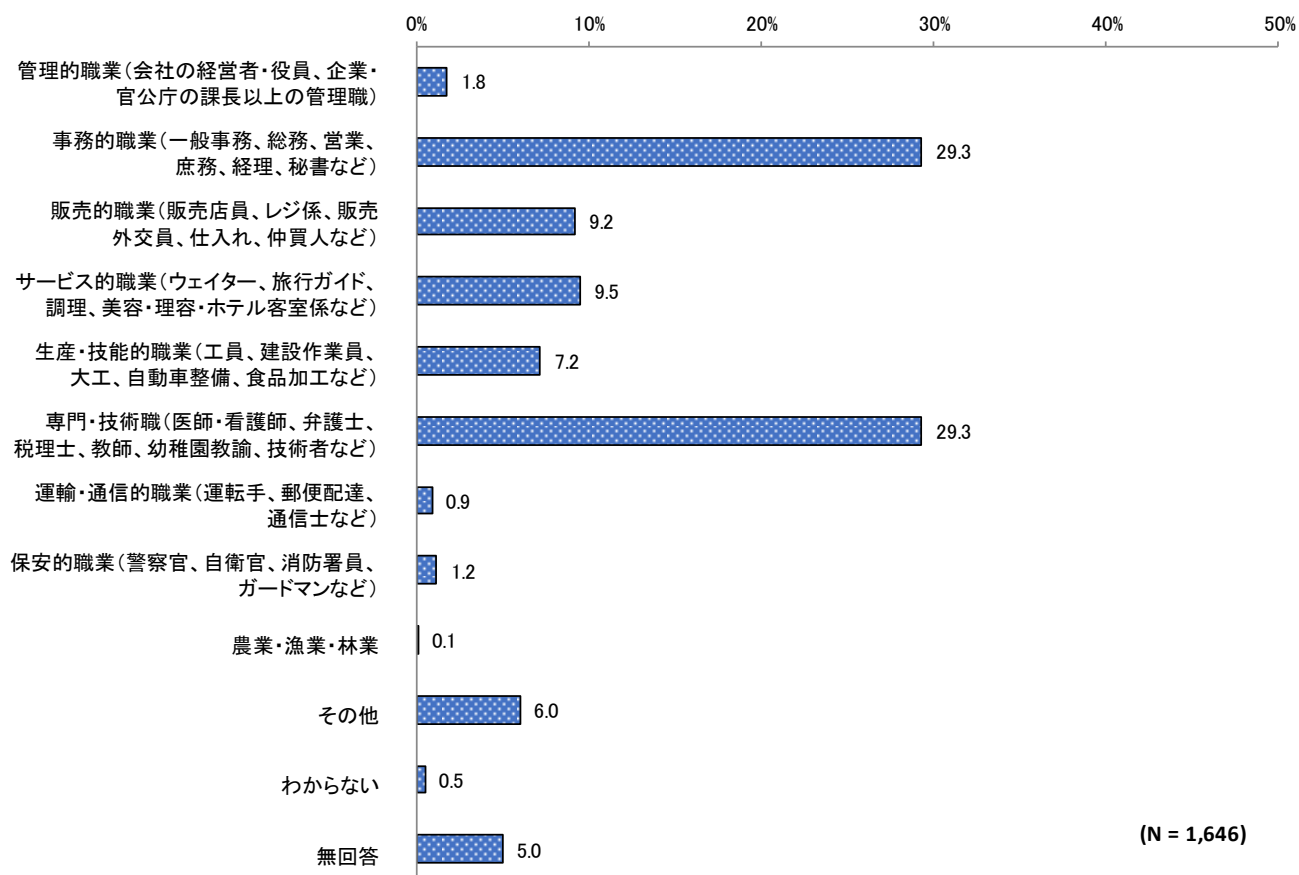
【前回調査との数値比較】

	正規の社員・従業員		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	64. 7	65. 2	0. 5

現在の職種について 【問 7】

■現在の職種は何ですか。(1つ)

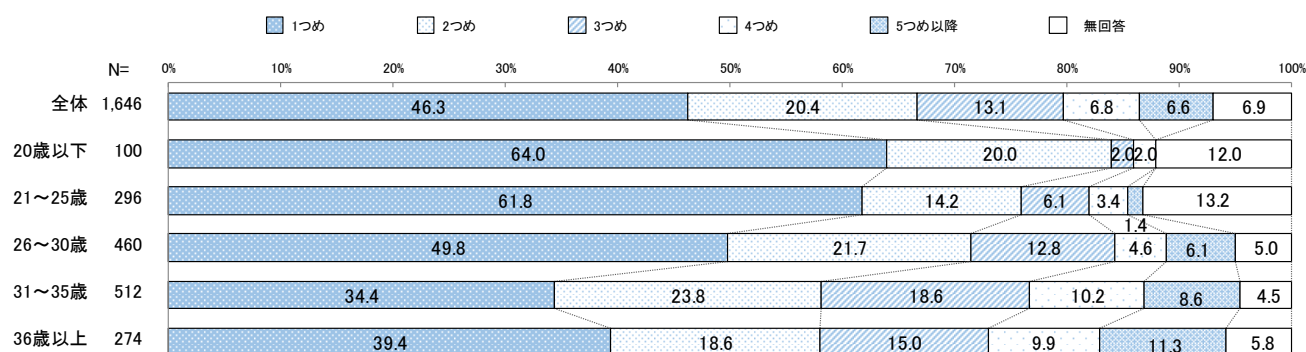
◇「事務的職業」、「専門・技術職」がともに 29.3%と最も多く、次いで「サービスの職業」が 9.5%、「販売的職業」が 9.2%となっている。



転職について 【問 8】

■現在の仕事は、最後に学校を卒業した後、いくつめの仕事ですか。(1つ)

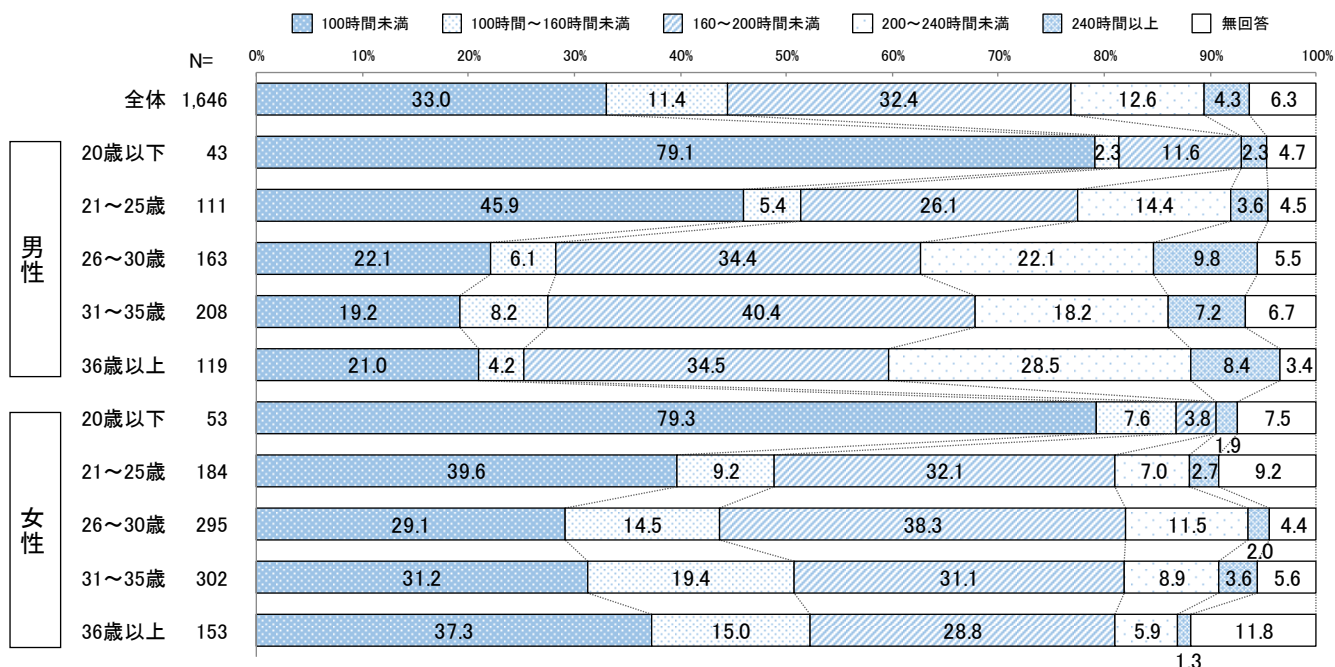
◇全体では、「1つめ」が 46.3%と最も多く、次いで「2つめ」が 20.4%、「3つめ」が 13.1%となっている。



平均的な1か月の就労時間について 【問9】

■平均的な1か月の就労時間（残業含む）はだいたいどの程度ですか。（1つ）

◇ 全体では、「100時間未満」が33.0%と最も多く、次いで「160～200時間未満」が32.4%となっている。

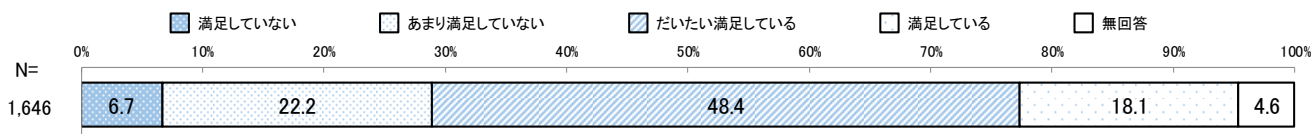


仕事の満足度について 【問10】

■現在の仕事に満足していますか。（1つ）

◇ 全体では、「だいたい満足している」が48.4%と最も多く、次いで「あまり満足していない」が22.2%、「満足している」が18.1%となっている。

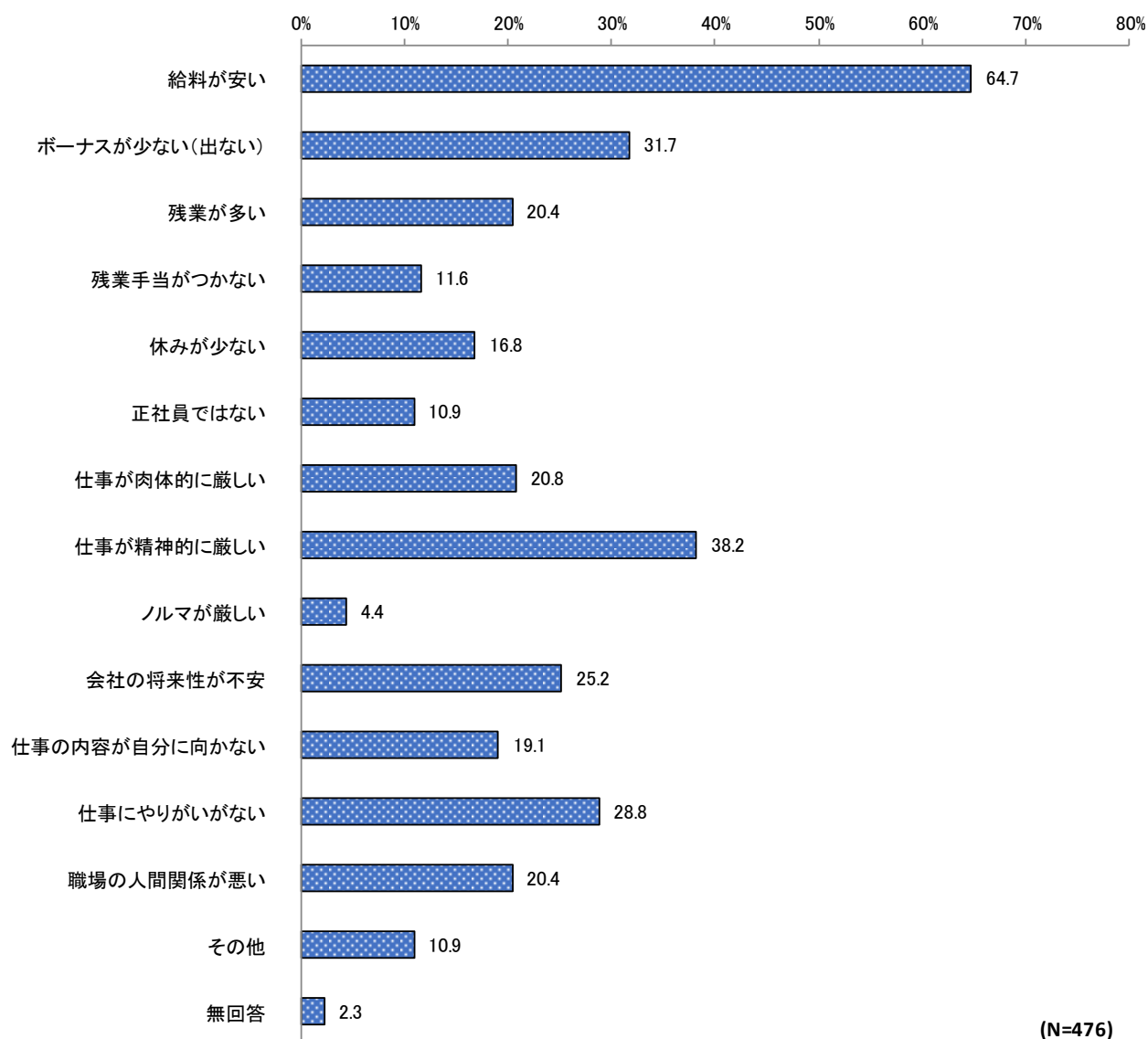
◇



仕事に満足しない理由について 【問 11】

■現在の仕事に満足していない理由は何ですか。(複数回答)

◇ 「給料が安い」が 64.7%と最も多い。



【前回調査との数値比較】

	給料が安い		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	58.4	64.7	6.3

	休みが少ない		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
	22.2	16.8	▲ 5.4

	仕事が肉体的に厳しい		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	21.3	20.8	▲ 0.5

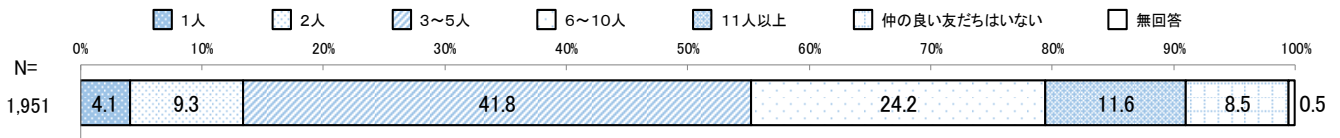
	仕事が精神的に厳しい		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
	35.7	38.2	2.5

～友人関係、家族に関する質問～

仲の良い友だちについて 【問 12】

■仲の良い友だちは何人いますか。(1つ)

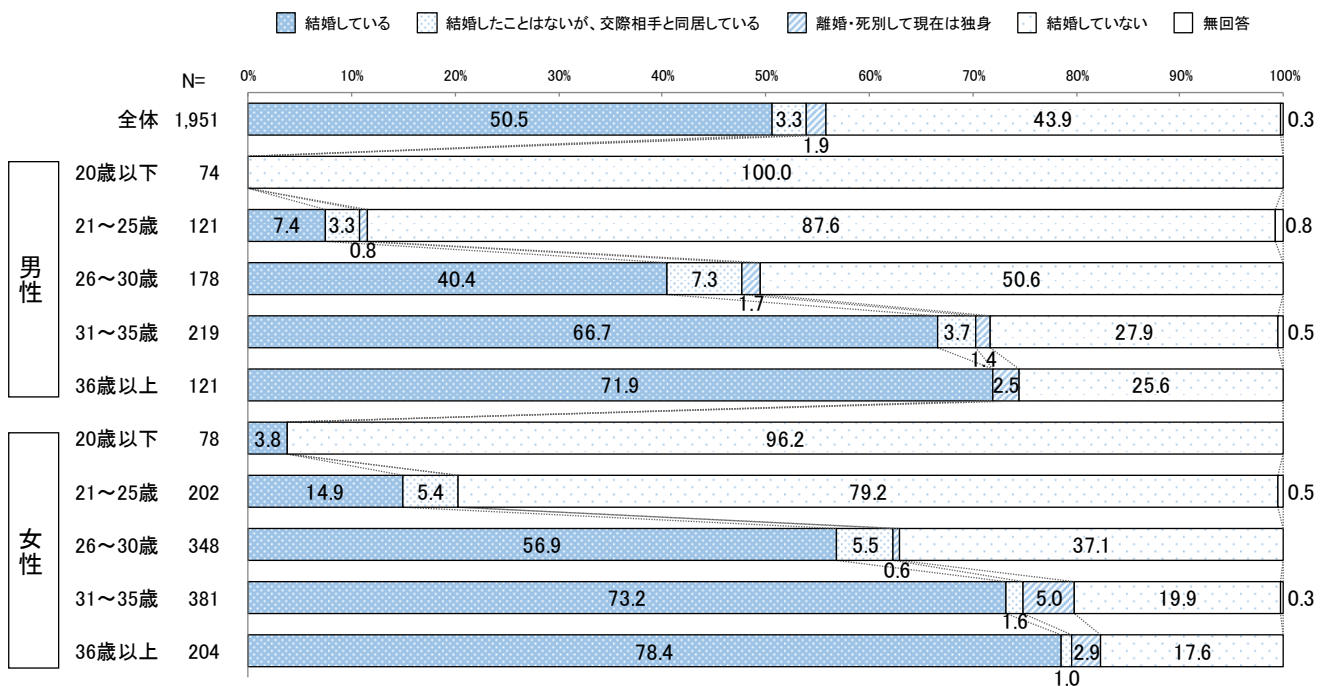
◇ 「3～5人」が41.8%と最も多い。また、「仲の良い友だちはいない」は8.5%である。



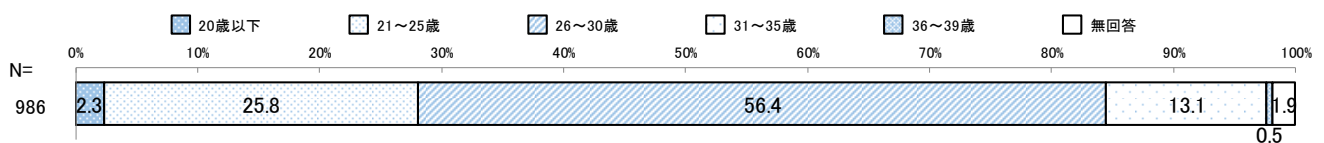
結婚について 【問 13】

■現在、結婚していますか。(1つ)

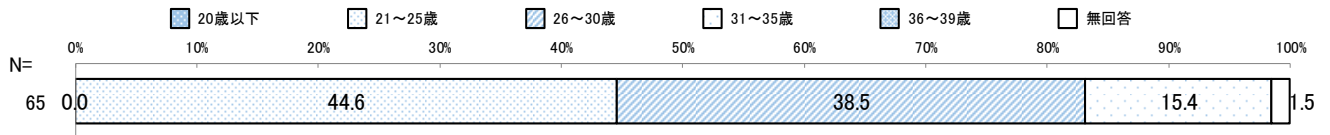
◇ 「結婚している」と回答した割合は、女性は「36歳以上」が78.4%と最も多く、男性は「36歳以上」が71.9%と最も多い。



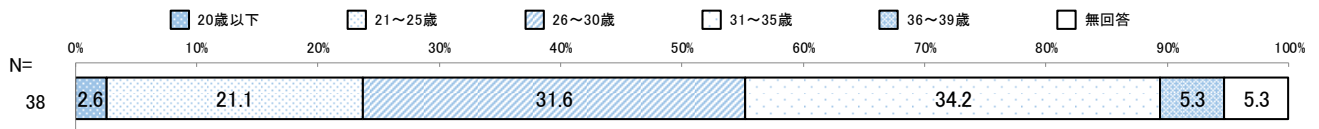
<結婚したのは何歳のときか>



<同居したのは何歳のときか>



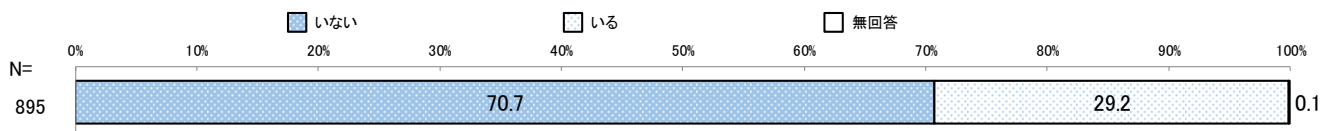
<離婚・死別して独身になったのは何歳のときか>



交際相手の有無について 【問 14】

■現在、交際相手はいますか。(1つ)

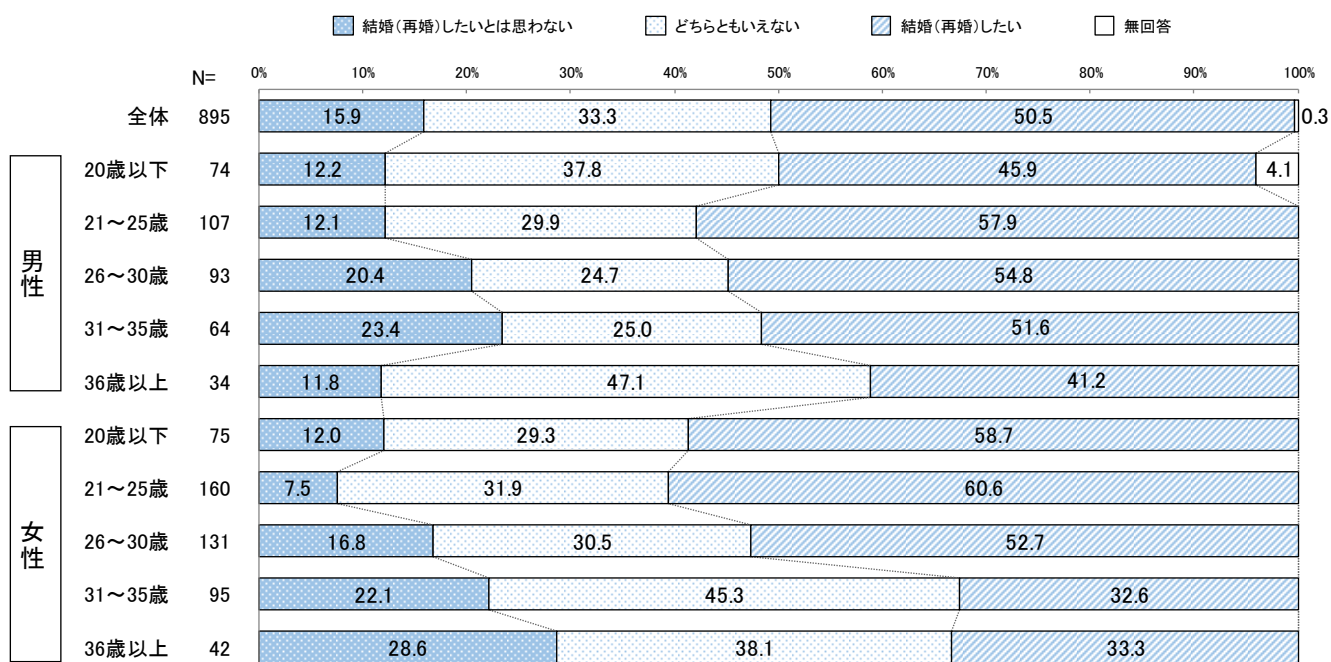
◇ 「いない」が70.7%、「いる」が29.2%となっている。



結婚願望の有無について 【問 15】

■将来、結婚（再婚）したいですか。（1つ）

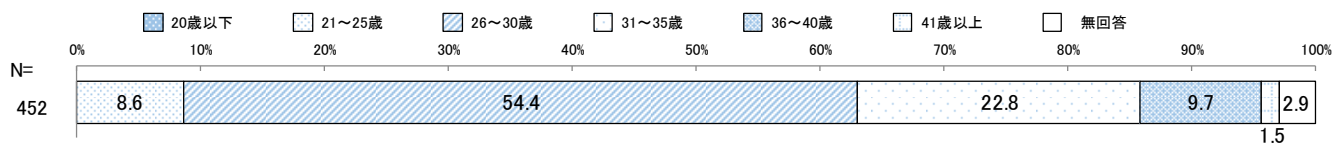
◇ 全体では、「結婚（再婚）したい」が50.5%と最も多い。



【前回調査との数値比較】

	結婚（再婚）したい		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	60.7	50.5	▲ 10.2

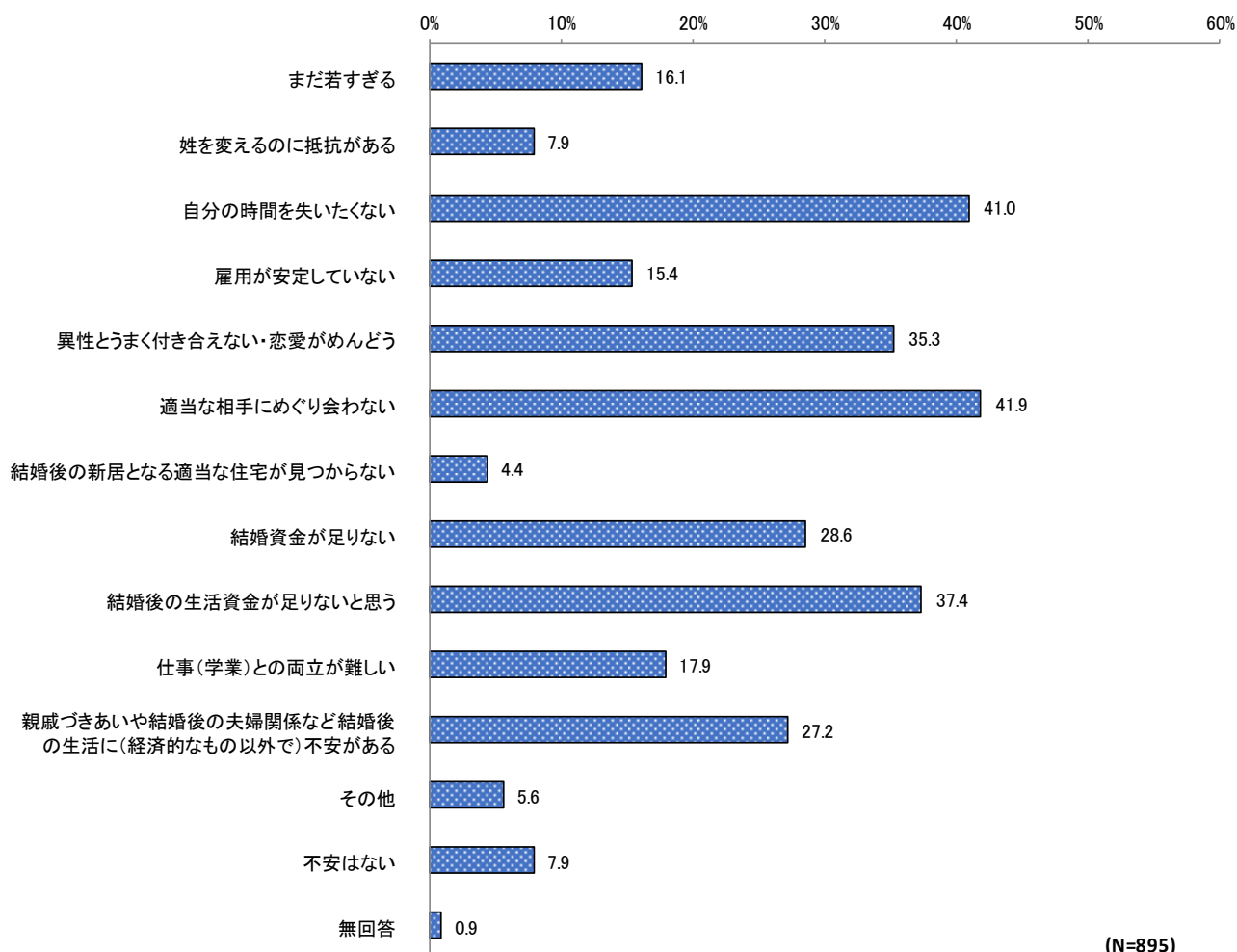
<何歳頃までに結婚（再婚）したいか>



結婚に対する不安について 【問 16】

■結婚について不安に感じていることはありますか。(複数回答)

◇ 「適当な相手にめぐり会わない」が 41.9%と最も多く、次いで「自分の時間を失いたくない」が 41.0%となっている。

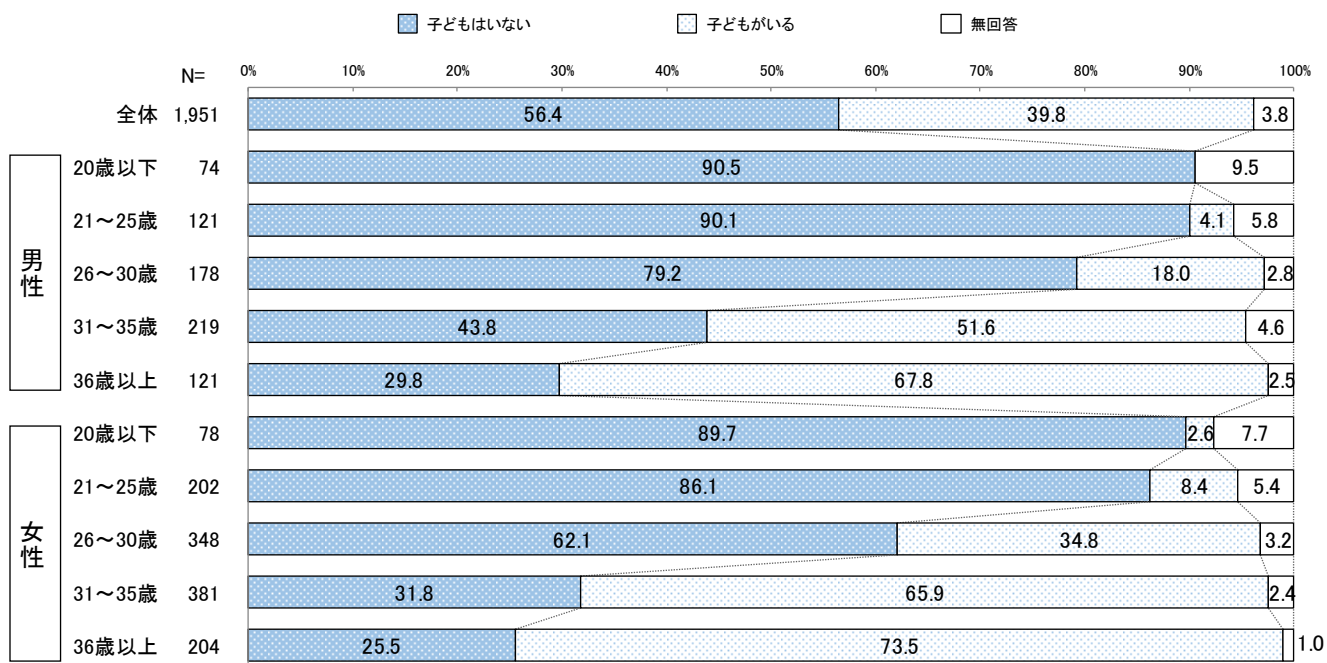


(N=895)

子どもの有無について 【問 17】

■お子さんはいますか。(1つ)

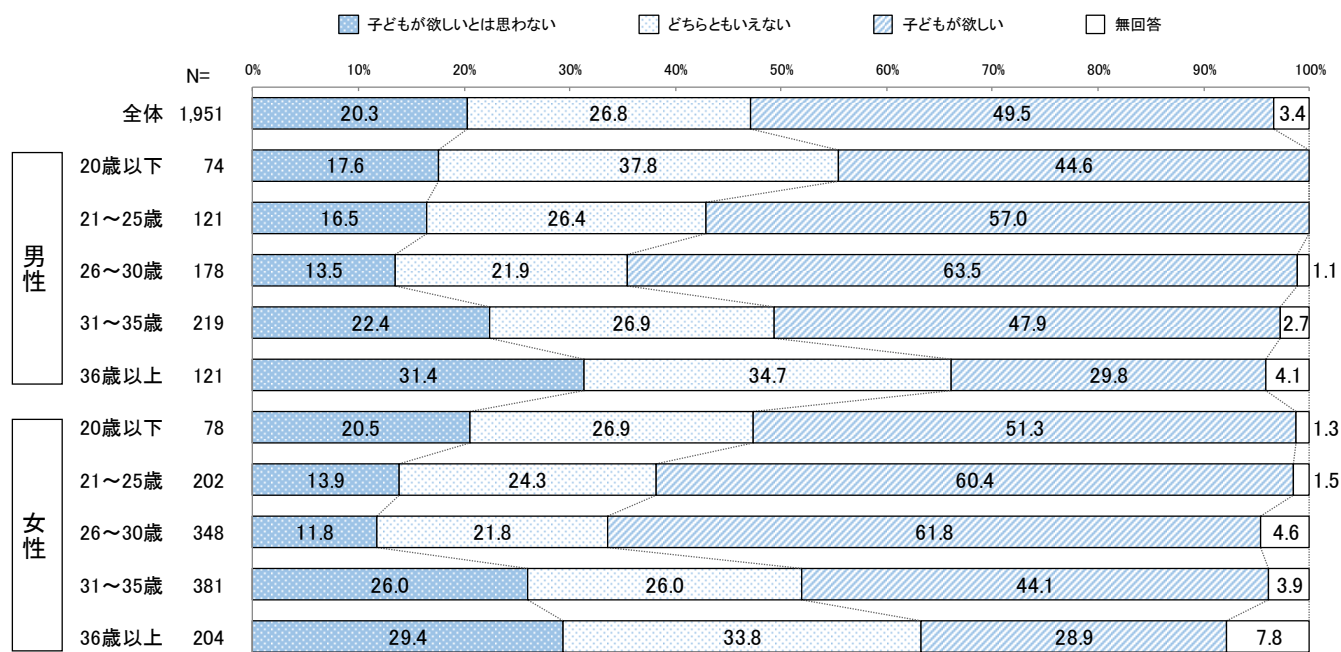
◇ 「子どもがいる」と回答した割合は、女性は「36 歳以上」が 73.5%と最も多く、男性も「36 歳以上」が 67.8%と最も多い。



子どもが欲しいかについて 【問 18】

■将来、子どもが欲しいですか。すでにお子さんがいる方も、もっと子どもが欲しい、という方は「子どもが欲しい」を選んでください。（1つ）

◇ 全体では、「子どもが欲しい」が 49.5%と最も多い。

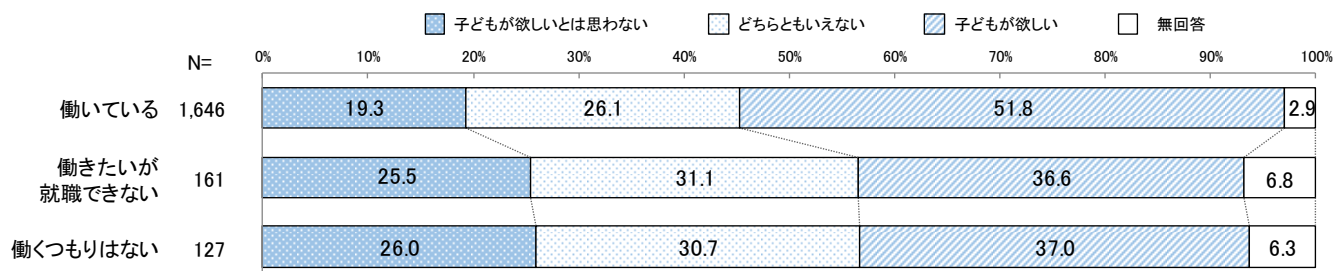


【前回調査との数値比較】

	子どもが欲しい		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	50.4	49.5	▲ 0.9

『現在、働いているか（問 5）と子どもが欲しいか（問 18）』

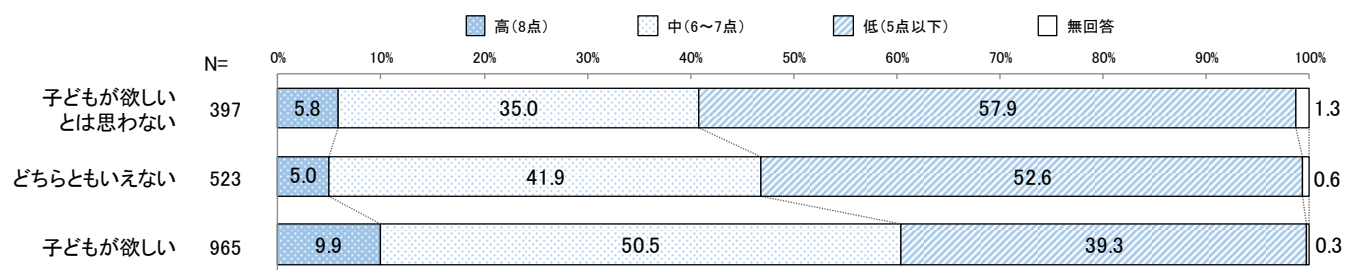
◎「働いている」人は、5割以上が「子どもが欲しい」と回答した。



『子どもが欲しいか（問 18）と自己肯定感（問 40・問 41）』

- 「子どもが欲しいと思わない」人は、「子どもが欲しい」人よりも「自己肯定感」が低い人が多くなっている。

<自己肯定感指標>

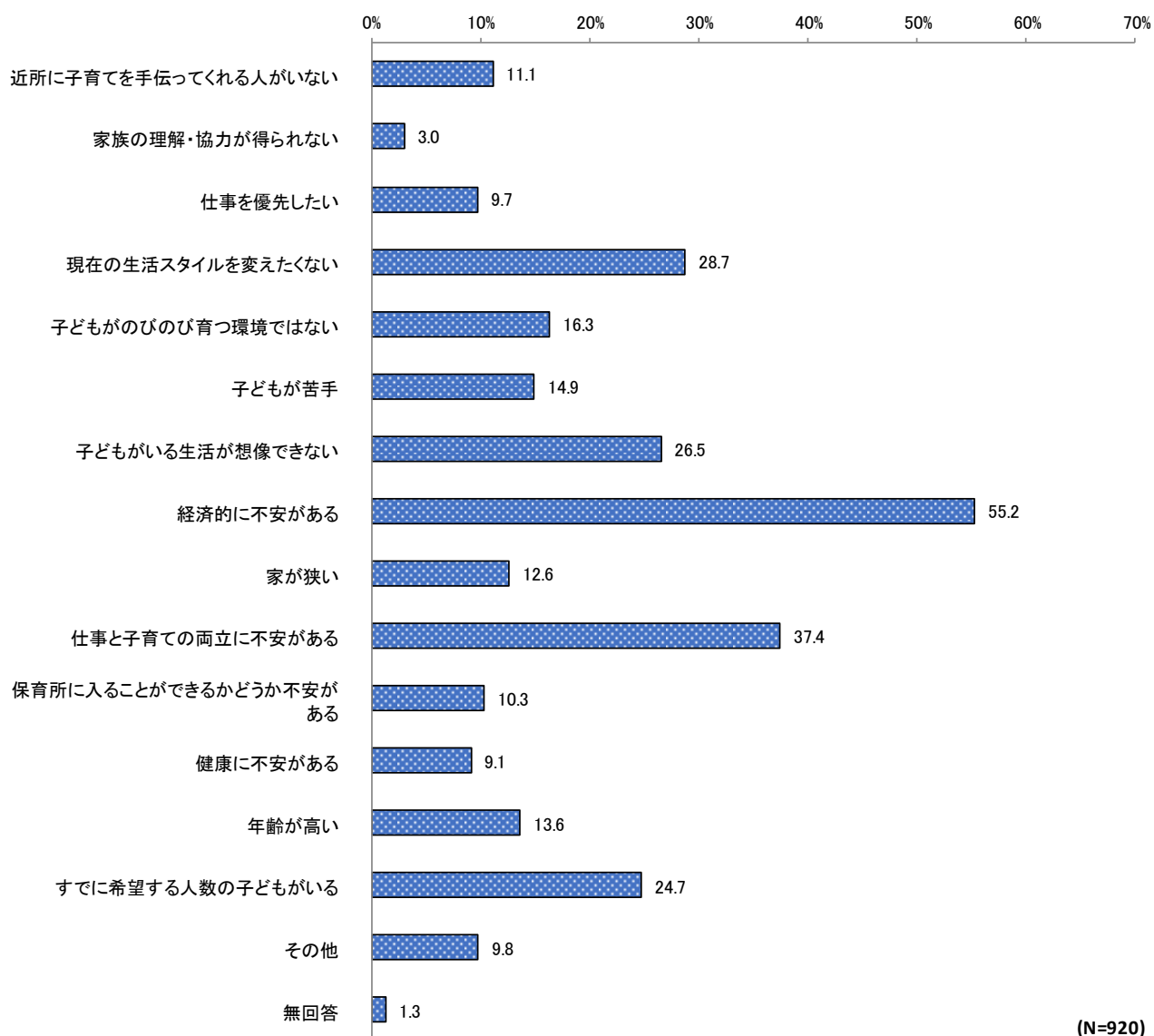


子どもが欲しいとは思わない理由について 【問 19】

■子どもが欲しいとは思わない理由またはどちらともいえない理由は何ですか。

(複数回答)

◇ 「経済的に不安がある」が 55.2%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立に不安がある」が 37.4%となっている。



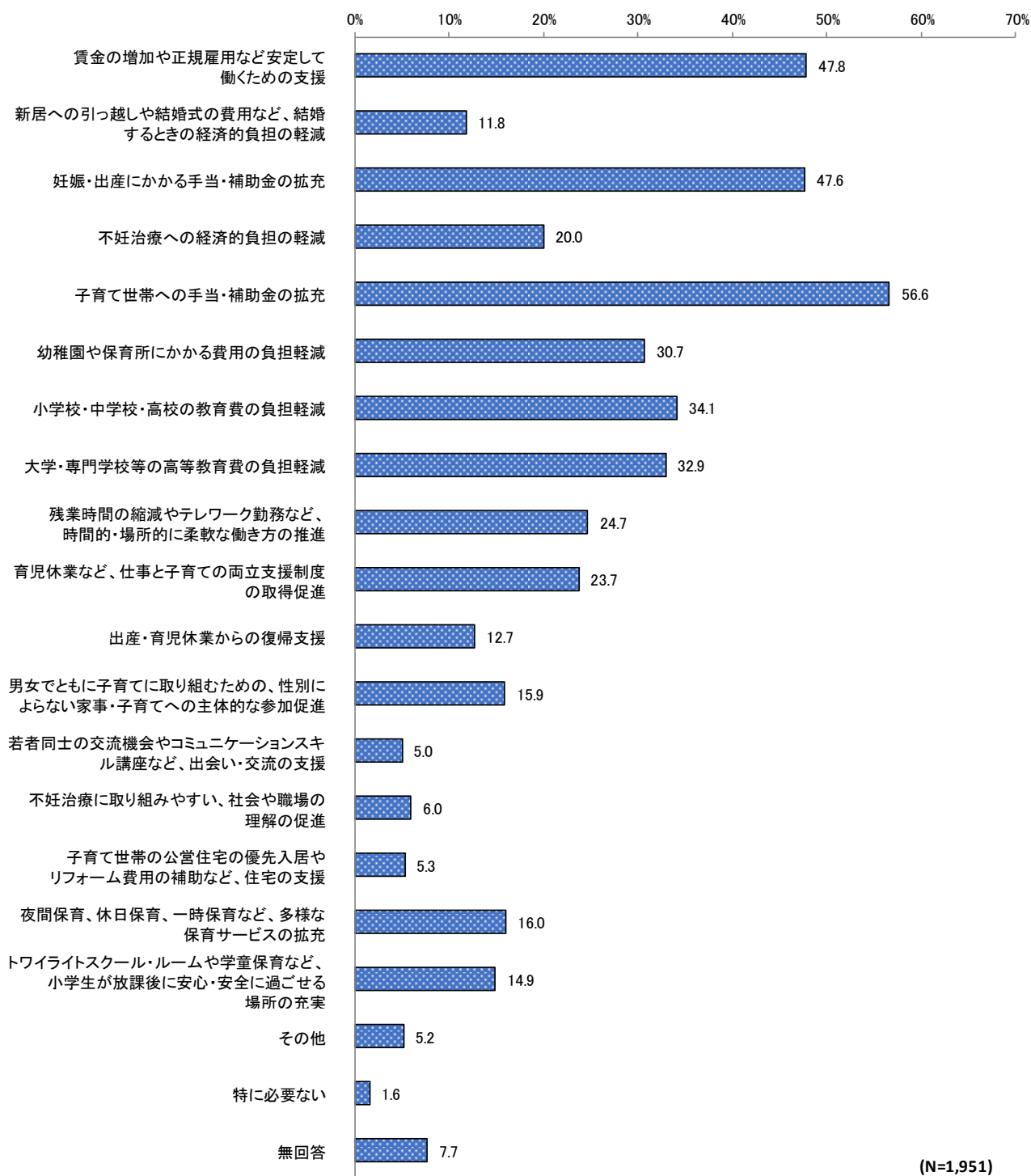
(N=920)

少子化対策として必要な支援について

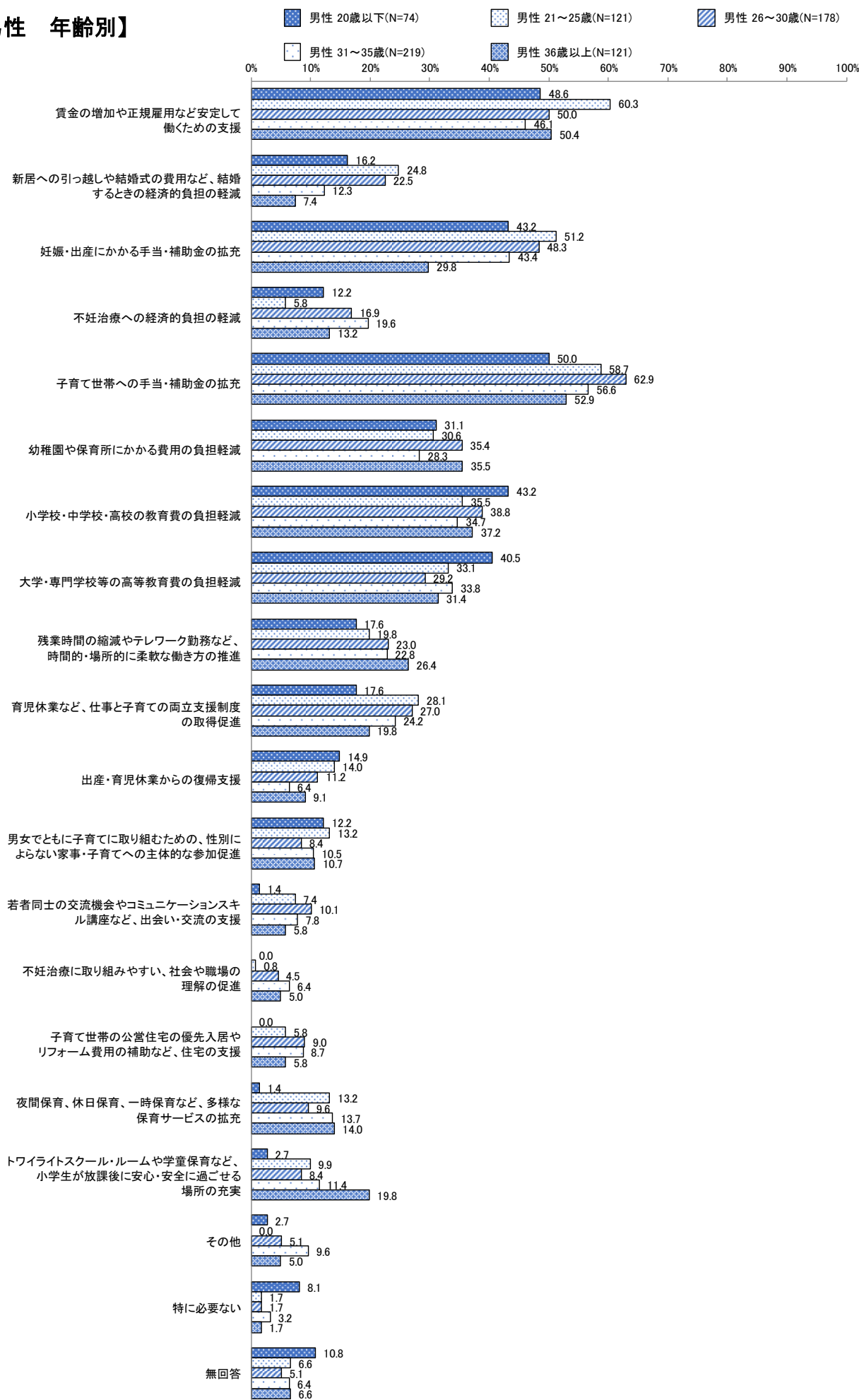
【問 20】

■少子化対策として、あなたが特に必要だと思う支援は何ですか。（5つまで回答）

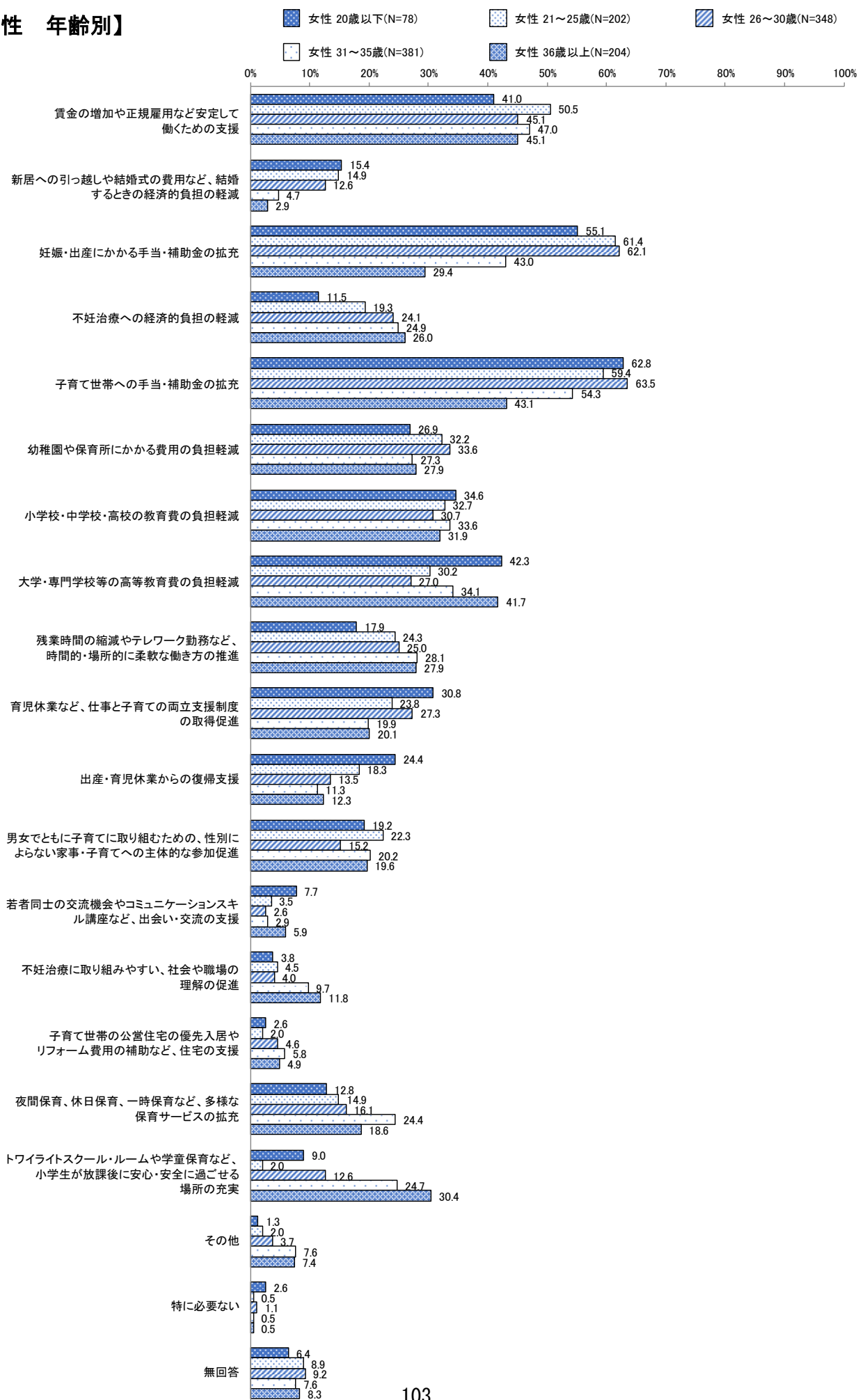
◇ 「子育て世帯への手当・補助金の拡充」が 56.6%と最も多く、次いで「賃金の増加や正規雇用など安定して働くための支援」が 47.8%となっている。



【男性 年齢別】



【女性 年齢別】

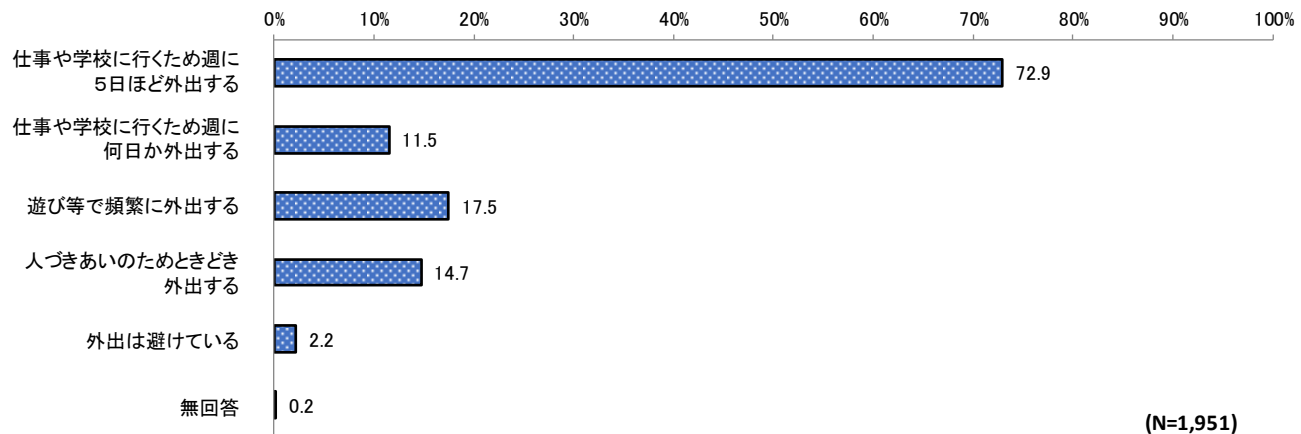


～外出に関する質問～

ふだんの外出について 【問 21】

■ふだん、どの程度外出しますか。（複数回答）

◇ 「仕事や学校に行くため週に5日ほど外出する」が72.9%と最も多い。



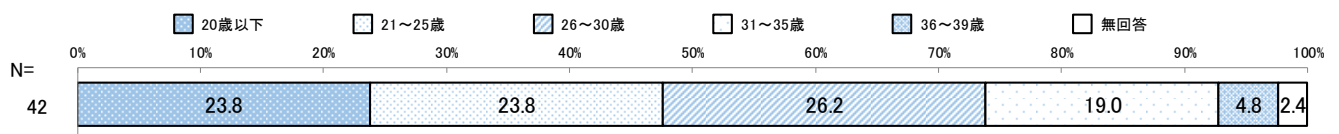
【前回調査との数値比較】

	外出は避けている		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	2.1	2.2	0.1

外出を避けるようになった年齢について 【問 22】

■外出を避けるようになったのは、あなたが何歳の頃ですか。

◇ 「26～30 歳」が26.2%と最も多い。



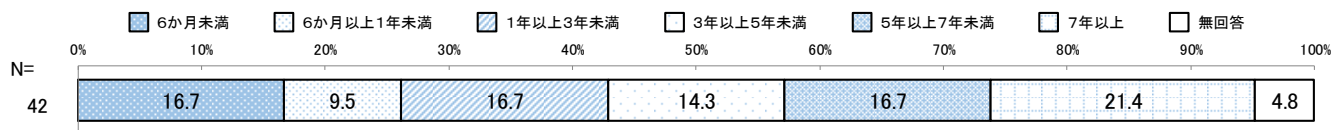
【前回調査との数値比較】

	20 歳以下			31 歳以上		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	34.5	23.8	▲ 10.7	3.4	23.8	20.4

外出を避けるようになってからの期間について 【問 23】

■外出を避けるようになってどのくらい経ちますか。(1つ)

◇ 「7年以上」が21.4%と最も多い。



【前回調査との数値比較】

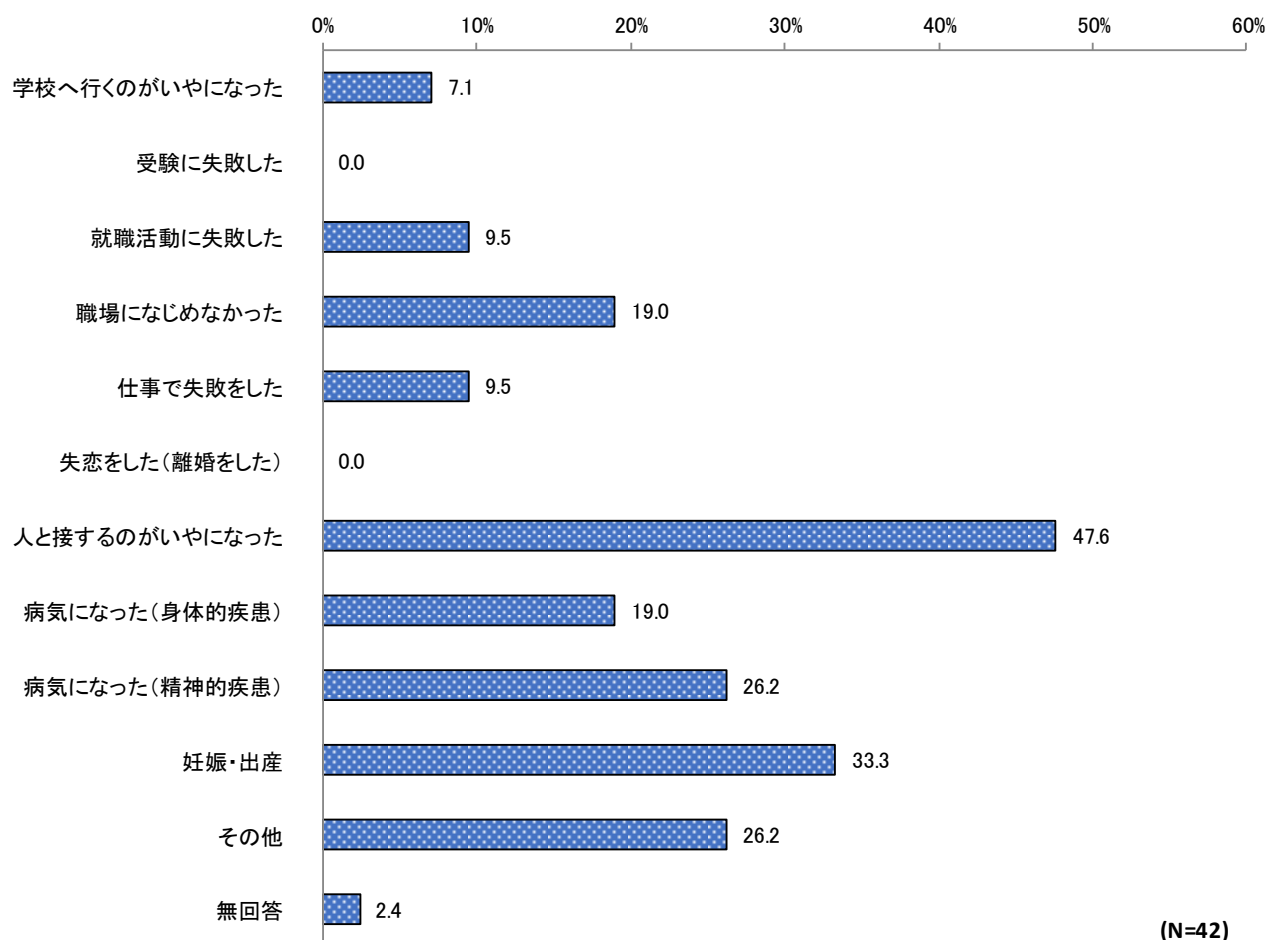
	5年以上7年未満			7年以上		
	平成30年	令和5年	変化量	平成30年	令和5年	変化量
全 体	10.3	16.7	6.4	41.4	21.4	▲ 20.0

外出を避けるようになったきっかけについて

【問 24】

■外出を避けるようになったのは、どのようなきっかけですか。（複数回答）

◇ 「人と接するのがいやになった」が 47.6%と最も多く、次いで「妊娠・出産」が 33.3%、「病気になった（精神的疾患）」が 26.2%となっている。



【前回調査との数値比較】

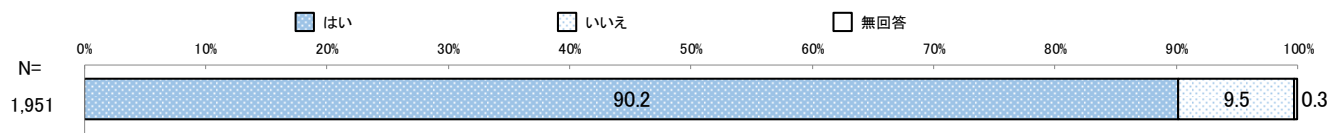
	人と接するのがいやになった			妊娠・出産		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	41.4	47.6	6.2	10.3	33.3	23.0

～両親との関係に関する質問～

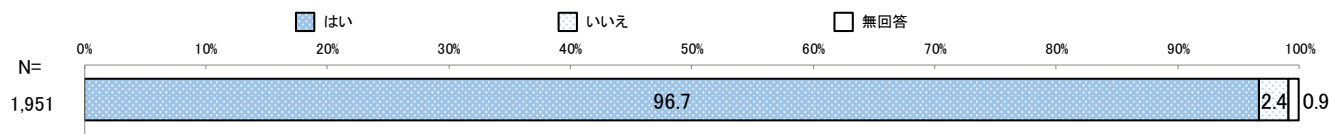
小学生・中学生の頃の父親・母親との同居について 【問 25・問 27】

■小学生・中学生の頃、お父さん・お母さんといっしょに暮らしていましたか。 （1つ）

<父親>



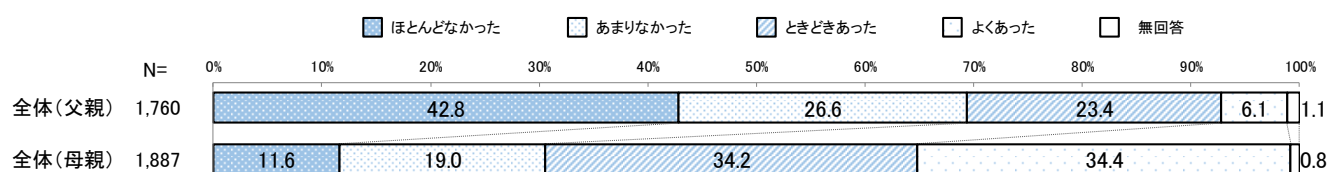
<母親>



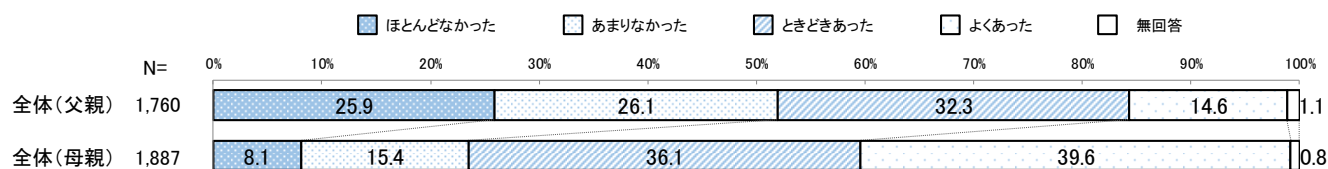
小学生・中学生の頃の父親・母親との関係について 【問 26・問 28】

■小学生・中学生の頃のお父さん・お母さんとの関係はどうでしたか。 （各1つ）

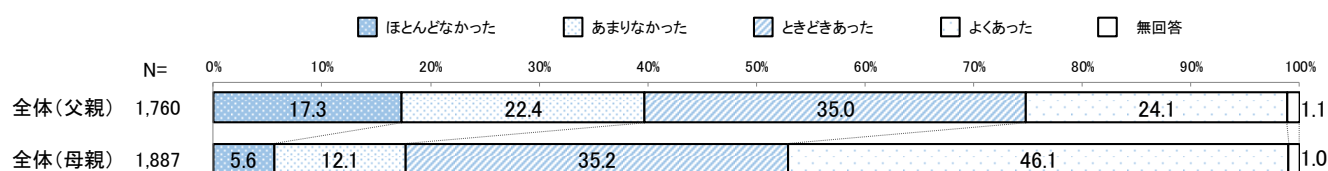
ア. 悩みごとなどを相談した



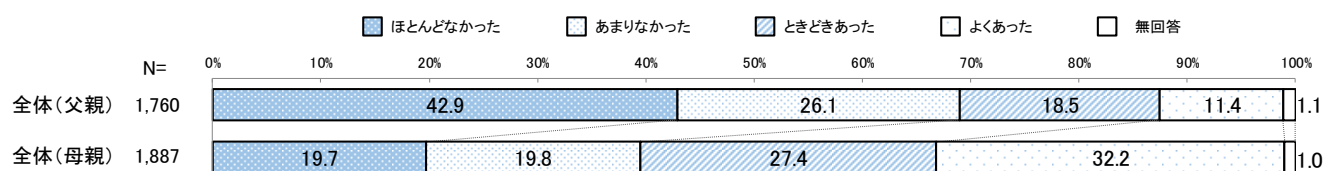
イ. 生活態度を注意された



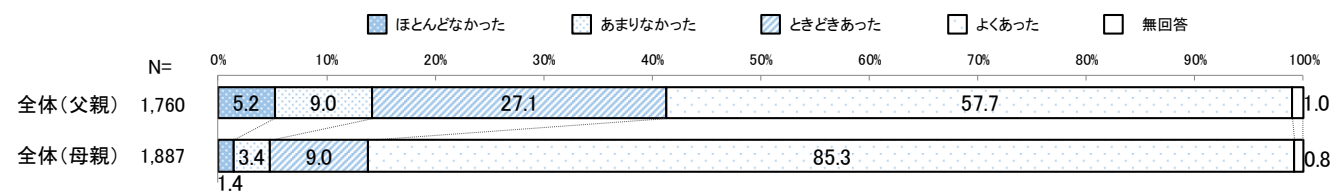
ウ. あなたの立場に立って物事を考えてくれた



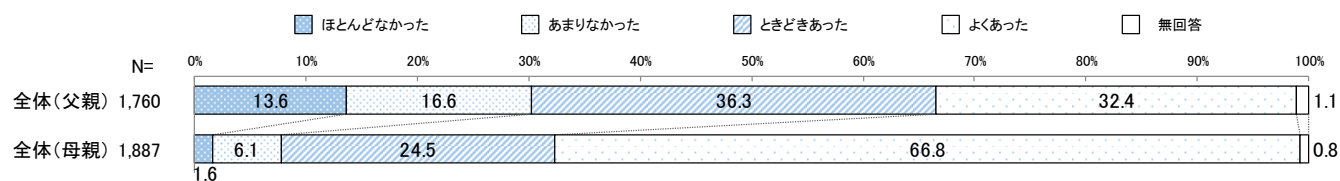
エ. 勉強をするよう注意された



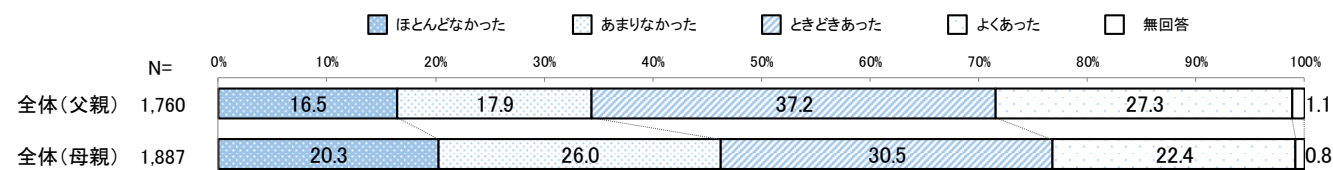
オ. 夕食をいっしょに食べた



カ. いっしょに買い物に出かけた



キ. いっしょにスポーツや遊びをした

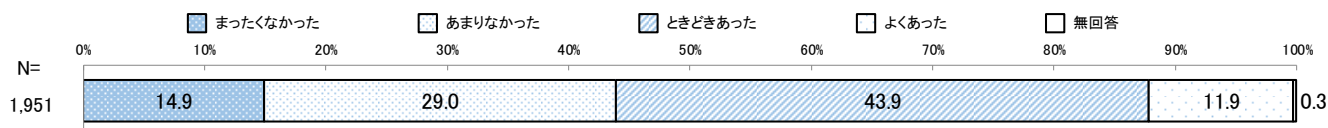


～近所の方との関係に関する質問～

小学生・中学生の頃、近所の大人にほめられたりした経験について 【問 29】

■小学生・中学生の頃、近所の大人からほめられたり、しかられたりした経験はどの程度ありますか。（1つ）

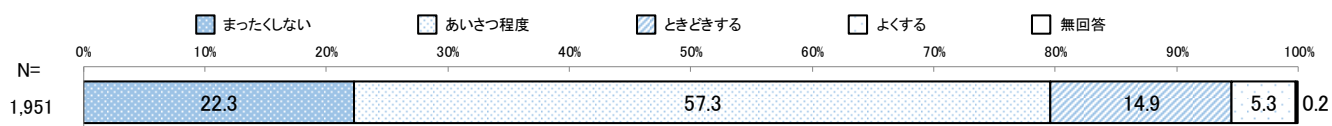
◇「ときどきあった」が 43.9%と最も多い。



ご近所の方との会話について 【問 30】

■最近、ご近所の方と話をすることがありますか。（1つ）

◇「あいさつ程度」が 57.3%と最も多い。

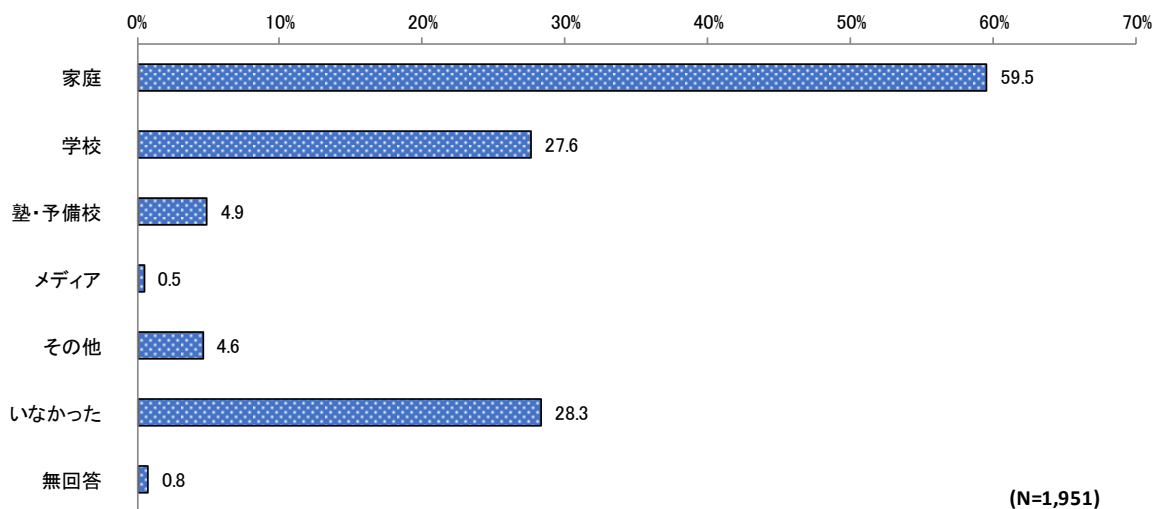


～これまでの経験に関する質問～

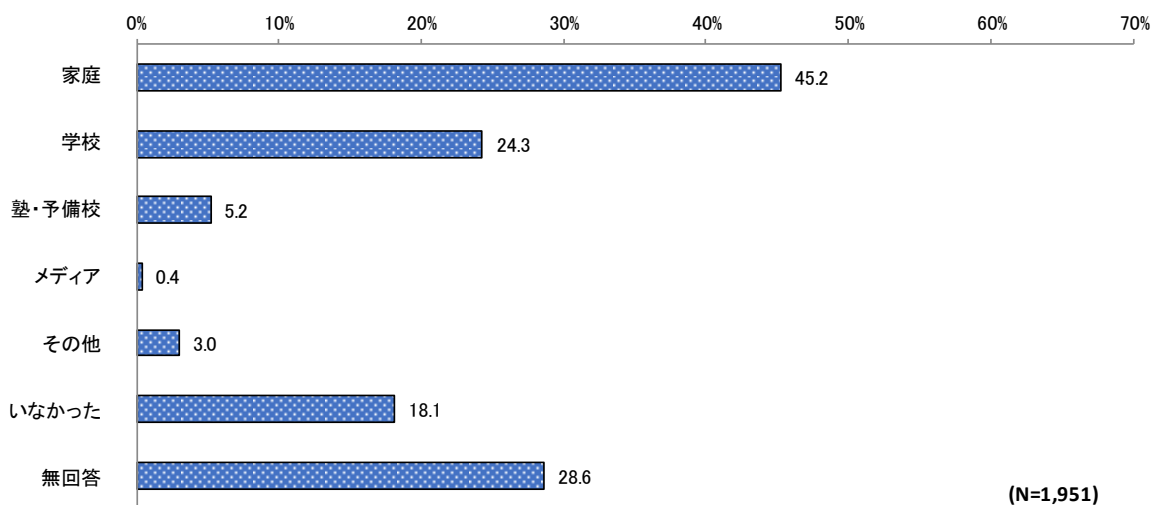
小学生・中学生の頃にまわりにいた大人について 【問 31】

■小学生・中学生の頃に、次のア～ウのような「大人」の人はいましたか。（各2つまで）

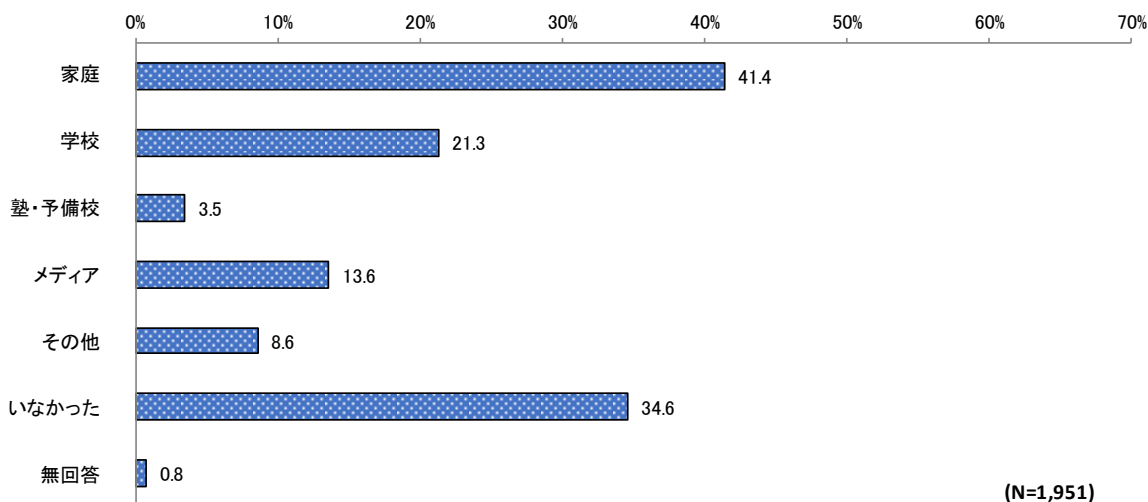
ア. 自分の悩みを打ち明けた「大人」の人



イ. 自分の将来のことを話せた「大人」の人



ウ. 自分の目標やお手本となった「大人」の人

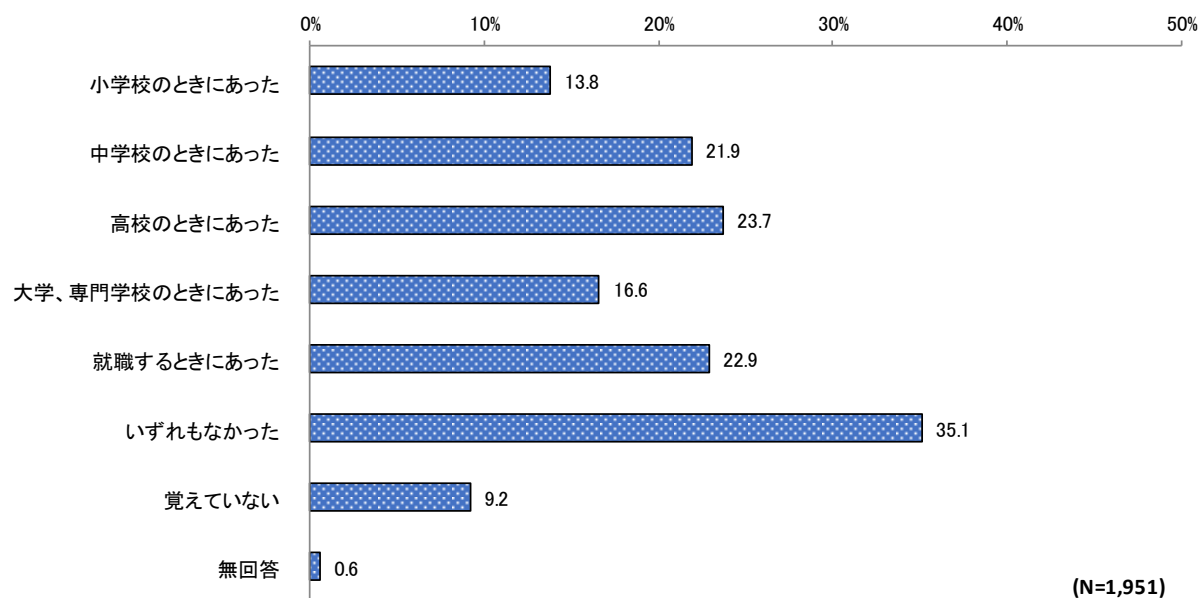


進学・就職時の環境への対応について

【問 32】

■進学・就職をしたときに、スムーズに環境になじめないなど、苦労したことがありましたか。(複数回答)

◇ 「いずれもなかった」が 35.1%で最も多く、次いで「高校のときにあった」が 23.7%、「就職するときにあった」が 22.9%となっている。



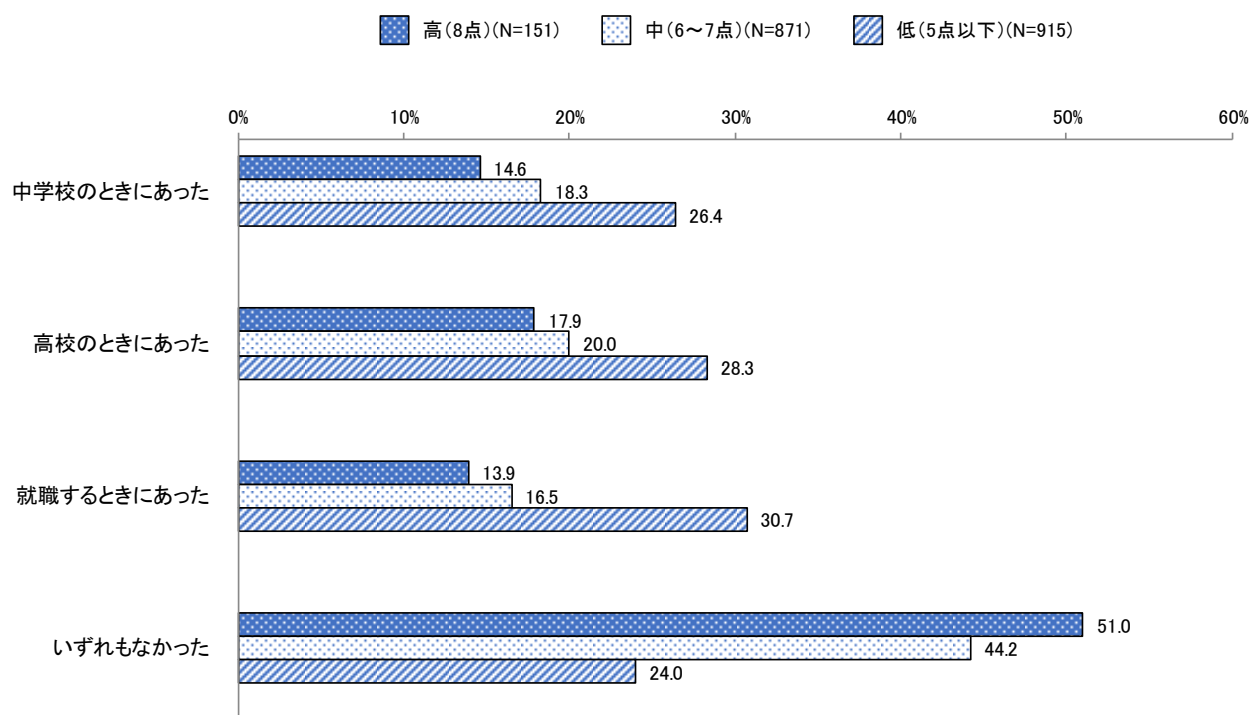
【前回調査との数値比較】

	小学校のときにあった			中学校のときにあった		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	8.6	13.8	5.2	18.0	21.9	3.9

『進学・就職時の環境への対応（問 32）と自己肯定感（問 40・問 41）』

○ 進学・就職をしたときに苦労していない若者ほど、自己肯定感が高い。

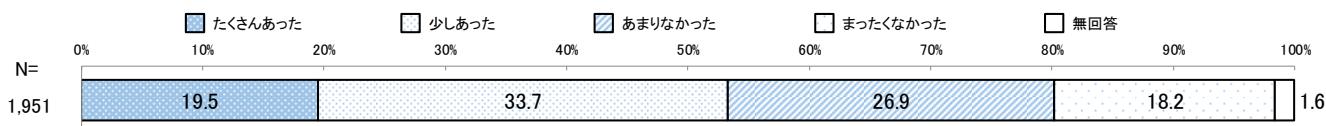
< 自己肯定感指標 >



子どもとのふれあいや、子育てを学ぶ機会について 【問 33】

■これまでに（現在、子どもがいる方は、子どもが生まれるまでに）小さな子どもと触れ合ったり、子育てについて学ぶ機会がありましたか。（1つ）

◇ 「少しあった」が 33.7%と最も多い。

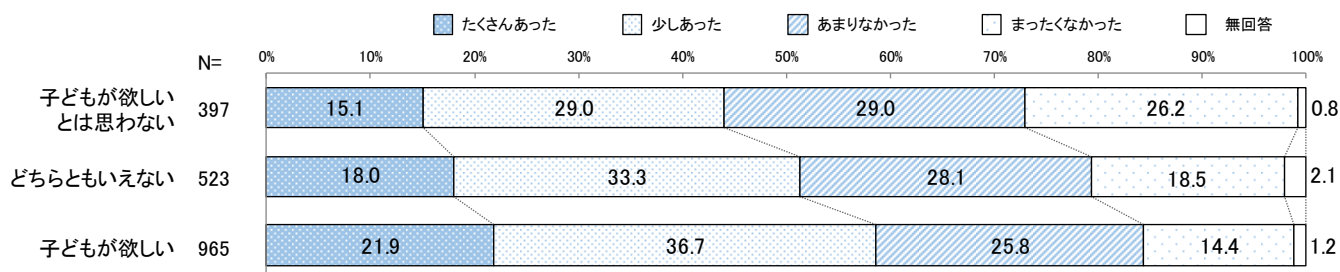


【前回調査との数値比較】

	あまりなかった＋まったくなかった		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	39.7	45.1	5.4

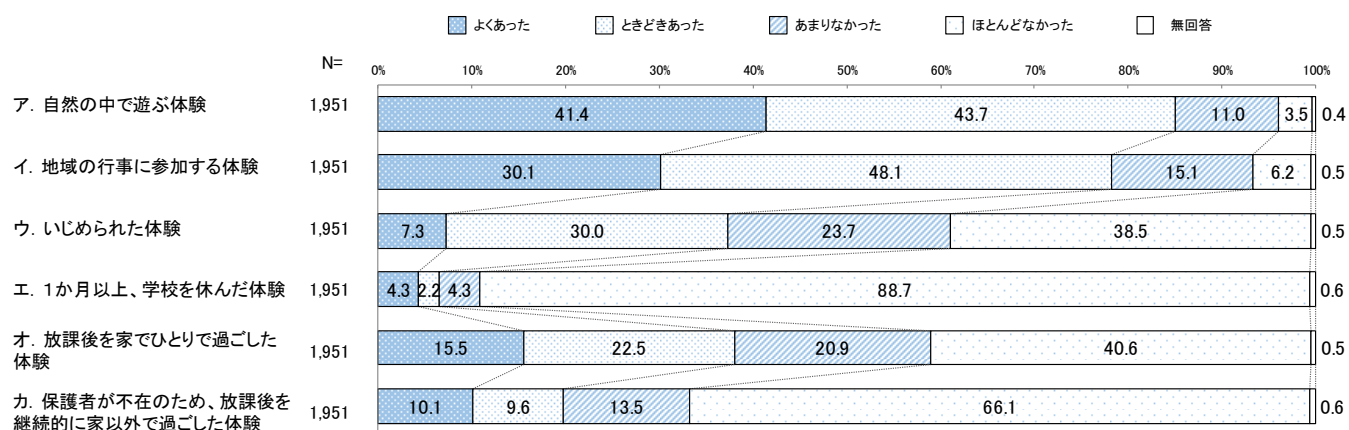
『子どもが欲しいか（問 18）と子どもとのふれあいや、子育てを学ぶ機会（問 33）』

◎ 「子どもが欲しいとは思わない」人は、子どもとのふれあいや、子育てを学ぶ機会が「あまりなかった」と「まったくなかった」人があわせて5割を超えている。



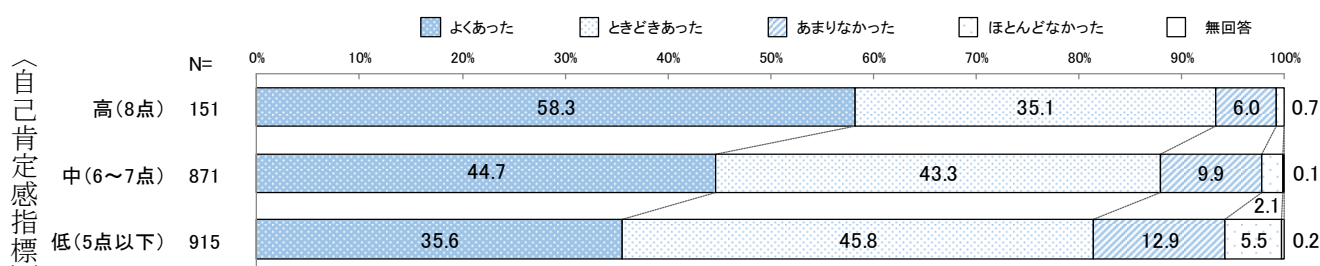
小学生・中学生の頃の体験について 【問 34】

■小学生・中学生の頃にどのような体験をしましたか。(各1つ)



『自然の中で遊ぶ体験（問 34 ア）と自己肯定感（問 40・問 41）』

○ 「自己肯定感」が低い人は、自然の中で遊ぶ体験が「あまりなかった」または「ほとんどなかった」と回答した人が多い。

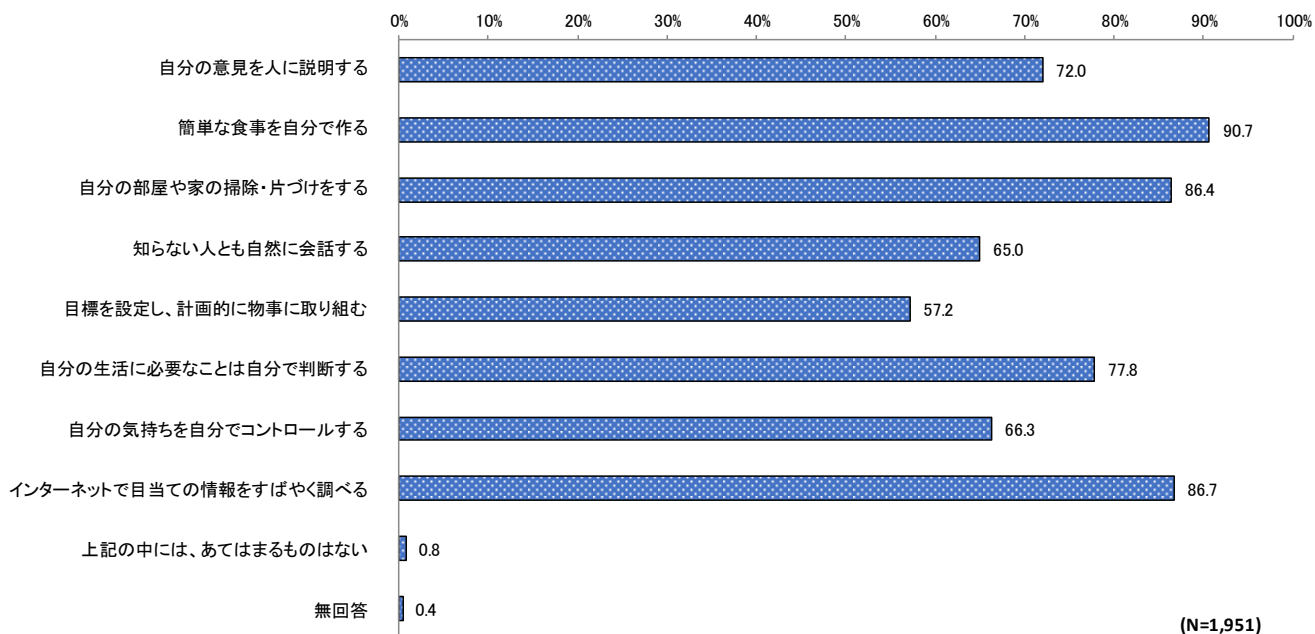


～考えや感じていることに関する質問～

あなたができることについて 【問 35】

■次の中から、あなたができると思うものは何ですか。（複数回答）

◇ 「簡単な食事を自分で作る」が 90.7%と最も多く、次いで「インターネットで目当ての情報をすばやく調べる」が 86.7%となっている。

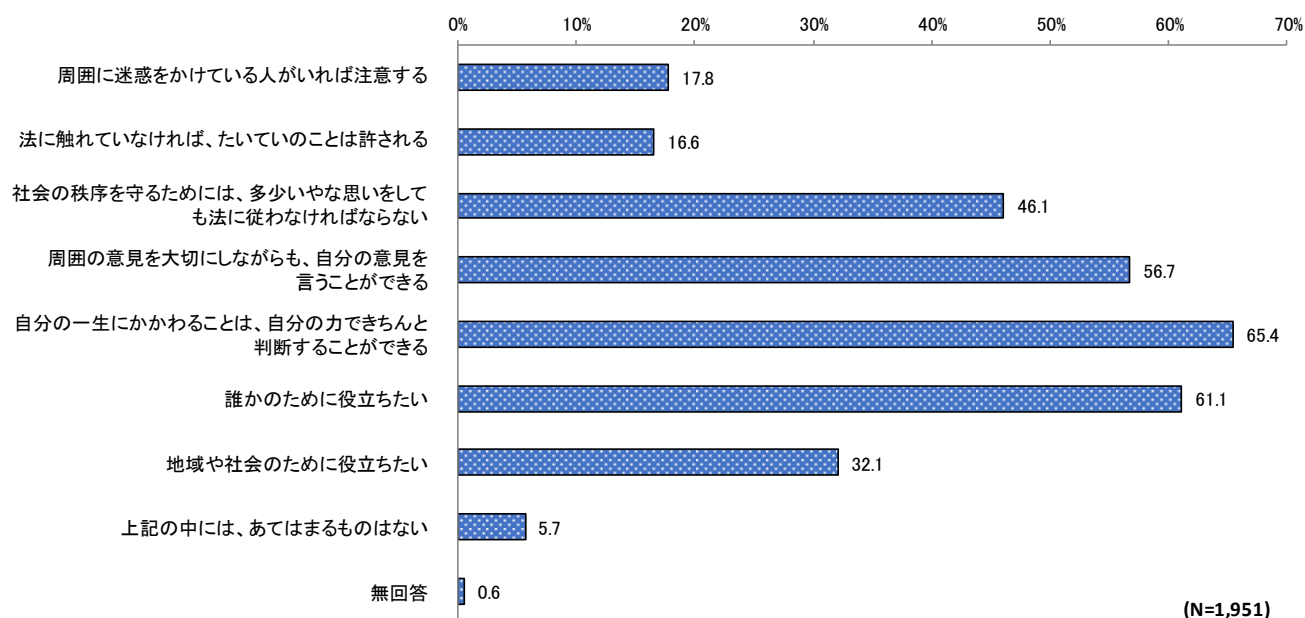


ふだんから考えたり、やったりしていることについて 【問 36】

■次の中から、あなたがふだんから考えたり、やったりしていることは何ですか。

(複数回答)

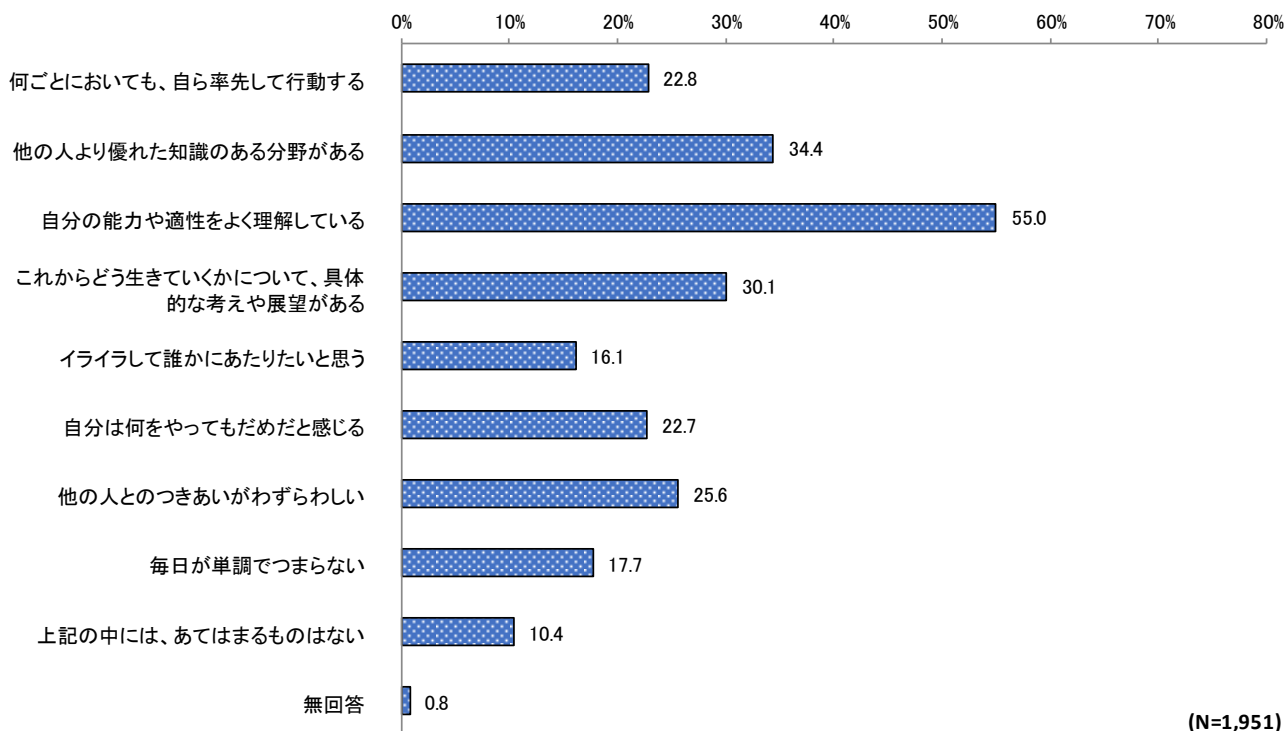
◇ 全体では、「自分の一生にかかわることは、自分の力できちんと判断することができる」が 65.4%と最も多い。



ふだんのあなたにあてはまると思うものについて 【問 37】

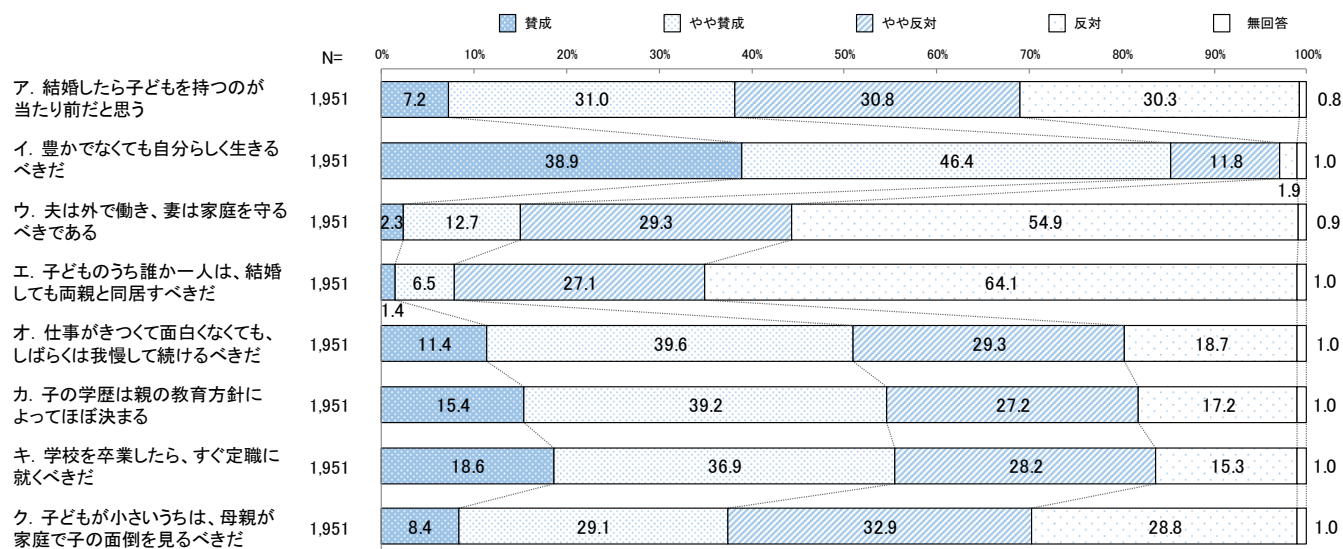
■次の中から、ふだんのあなたにあてはまると思うものは何ですか。（複数回答）

◇ 「自分の能力や適性をよく理解している」が 55.0%と最も多く、次いで「他の人より優れた知識のある分野がある」が 34.4%、「これからどう生きていくかについて、具体的な考えや展望がある」が 30.1%、「他の人とのつきあいがわずらわしい」が 25.6%となっている。



次の意見に賛成か、反対かについて 【問 38】

■ 次の意見に賛成ですか、それとも反対ですか。（1つ）



【前回調査との数値比較】

	ア. 結婚したら子どもを持つのが当たり前だと思う		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
賛成	10.6	7.2	▲ 3.4
やや賛成	37.9	31.0	▲ 6.9
やや反対	29.0	30.8	1.8
反対	21.8	30.3	8.5

	ウ. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
賛成	2.6	2.3	▲ 0.3
やや賛成	19.2	12.7	▲ 6.5
やや反対	37.4	29.3	▲ 8.1
反対	40.0	54.9	14.9

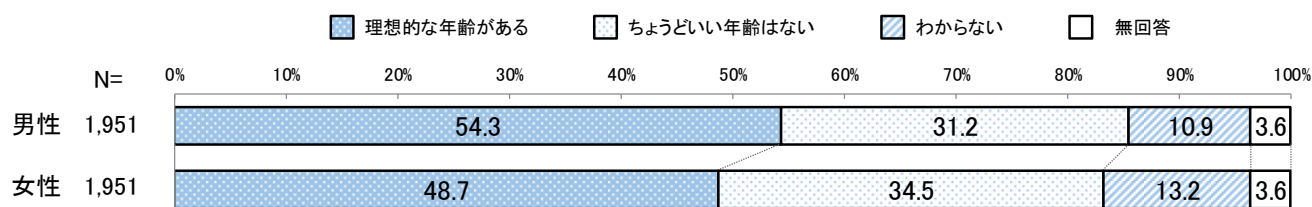
	エ. 子どものうち誰か一人は、結婚しても両親と同居すべきだ		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
賛成	1.6	1.4	▲ 0.2
やや賛成	12.0	6.5	▲ 5.5
やや反対	39.1	27.1	▲ 12.0
反対	46.5	64.1	17.6

	ク. 子どもが小さいうちは、母親が家庭で子の面倒を見るべきだ		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
賛成	13.5	8.4	▲ 5.1
やや賛成	38.3	29.1	▲ 9.2
やや反対	31.8	32.9	1.1
反対	15.8	28.8	13.0

人生で経験する出来事へのあなたの考え方について 【問 39】

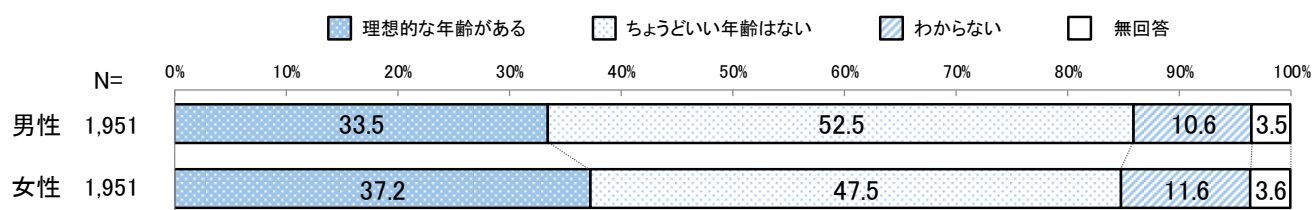
■人生で経験する出来事について、次のア～ウの出来事を経験するのに「理想的な年齢」は、男女それぞれについて何歳ぐらいだと思いますか。「理想的な年齢」があると思うものは「ちょうどいい年齢がある」を選び、その年齢を記入してください。（1つ）

ア. 経済的に独立するちょうどいい年齢



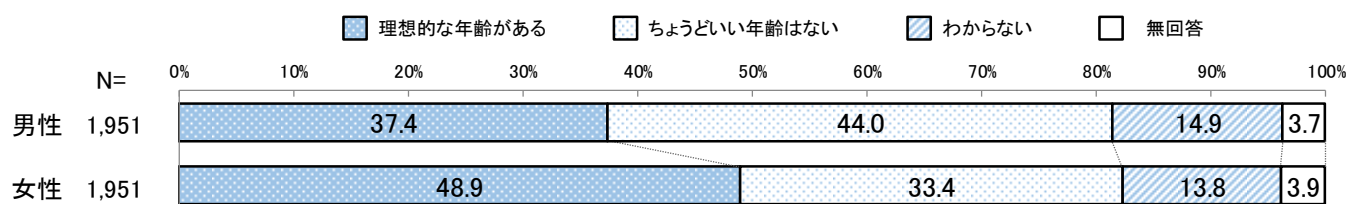
	男性	女性
経済的に独立するちょうどいい年齢（平均）	23.0 歳	22.9 歳

イ. 結婚にちょうどいい年齢



	男性	女性
結婚にちょうどいい年齢（平均）	28.6 歳	26.9 歳

ウ. 最初の子どもが生まれるちょうどいい年齢

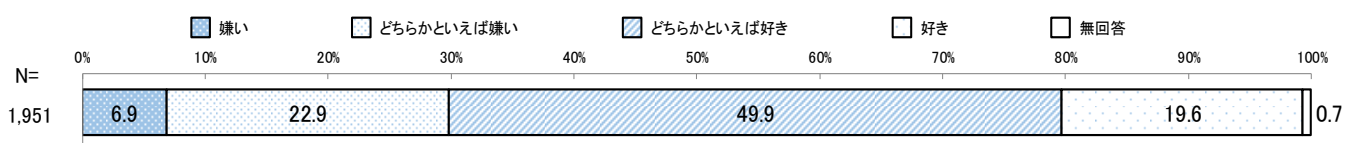


	男性	女性
最初の子どもが生まれるちょうどいい年齢（平均）	29.9 歳	28.2 歳

自分のことが好きかについて【問 40】

■自分のことが好きですか。（1つ）

◇ 全体では、「どちらかといえば好き」が 49.9%と最も多い。



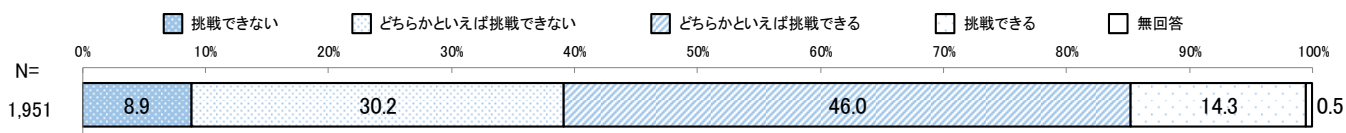
【前回調査との数値比較】

	どちらかといえば好き+好き		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	72.9	69.5	▲ 3.4

色々なことに挑戦できるかについて【問 41】

■色々なことに積極的に挑戦できますか。（1つ）

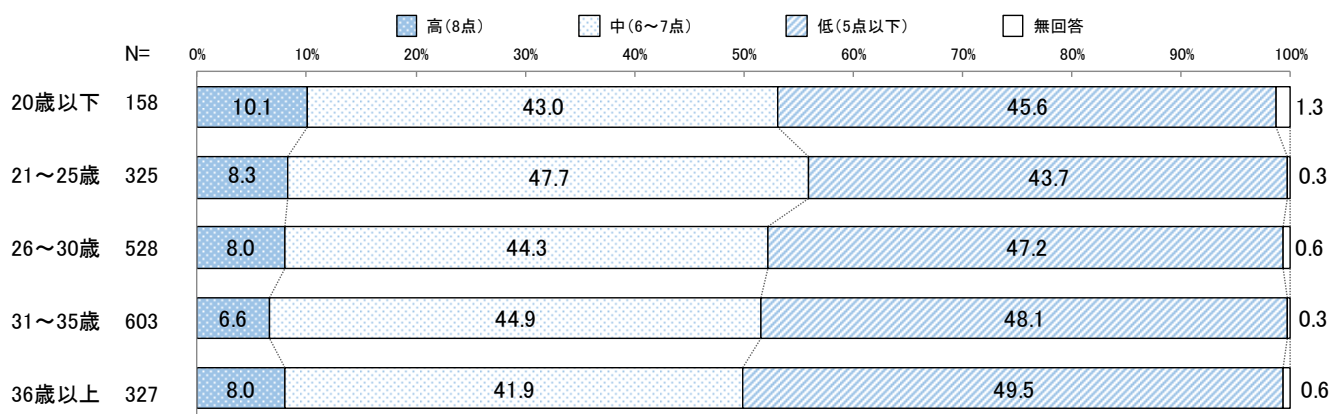
◇ 全体では、「どちらかといえば挑戦できる」が 46.0%で最も多い。



『自己肯定感（問 40・問 41）と自分の年齢（F2）』

○ 「自己肯定感」が低い人は、「36 歳以上」で最も高くなっている。

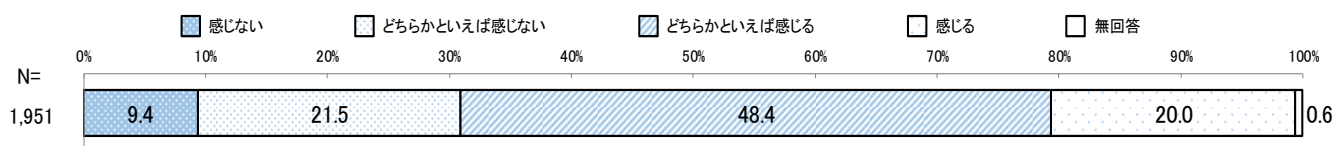
〈自己肯定感指標〉



他人から必要とされていると感じるかについて 【問 42】

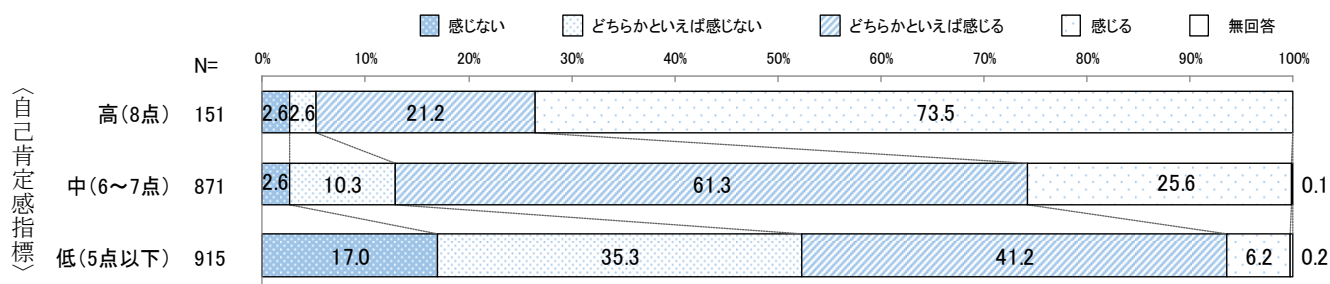
■ 自分は他の人から必要とされていると感じますか。(1つ)

◇ 全体では、「どちらかといえば感じる」が 48.4%で最も多い。



『他人から必要とされていると感じるか (問 42) と自己肯定感 (問 40・問 41)』

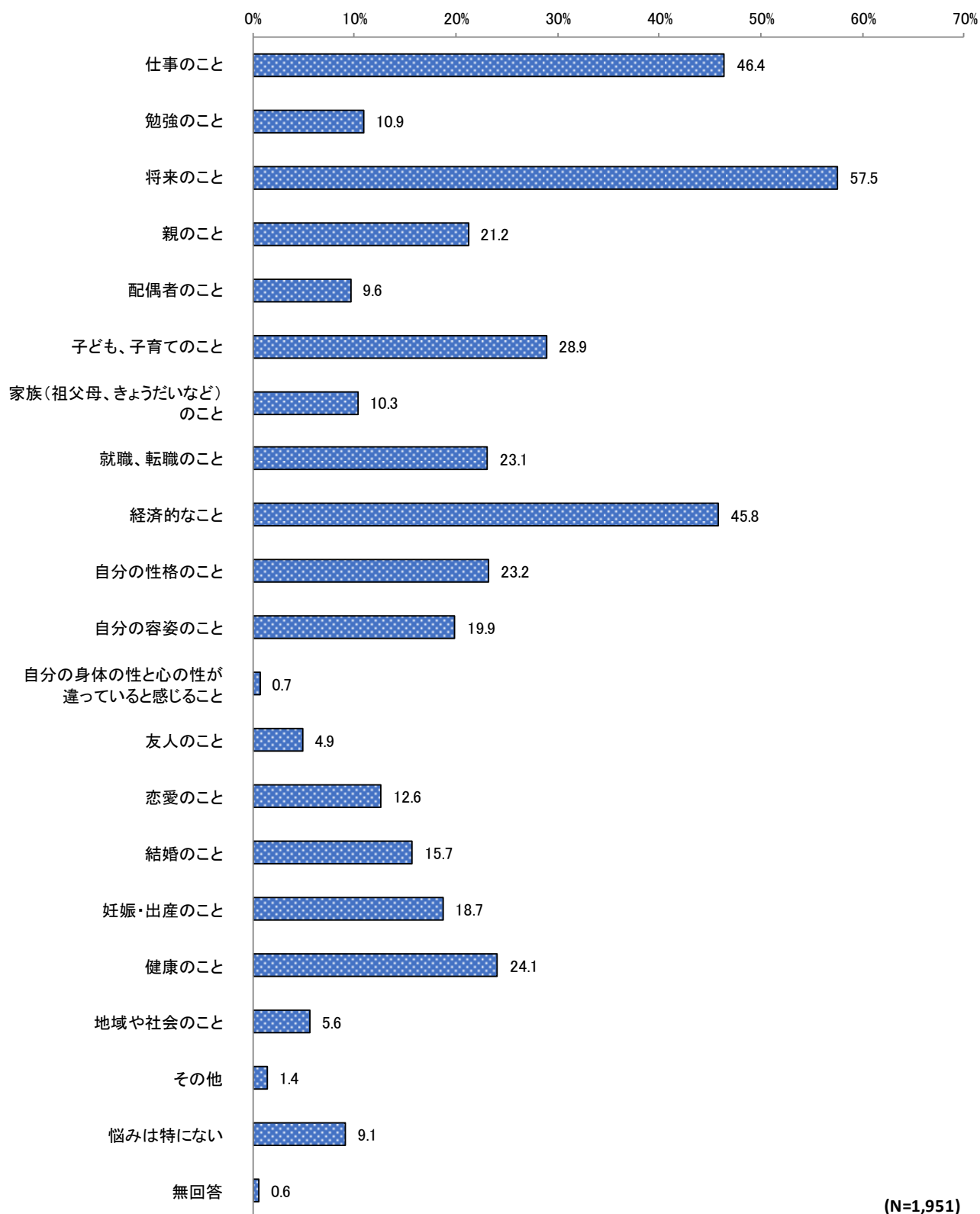
○ 「自己肯定感」が低い人は、他人から必要とされていると「感じない」と「どちらかといえば感じない」人があわせて 5 割を超えている。



困っていることや悩んでいることについて 【問 43】

■現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(複数回答)

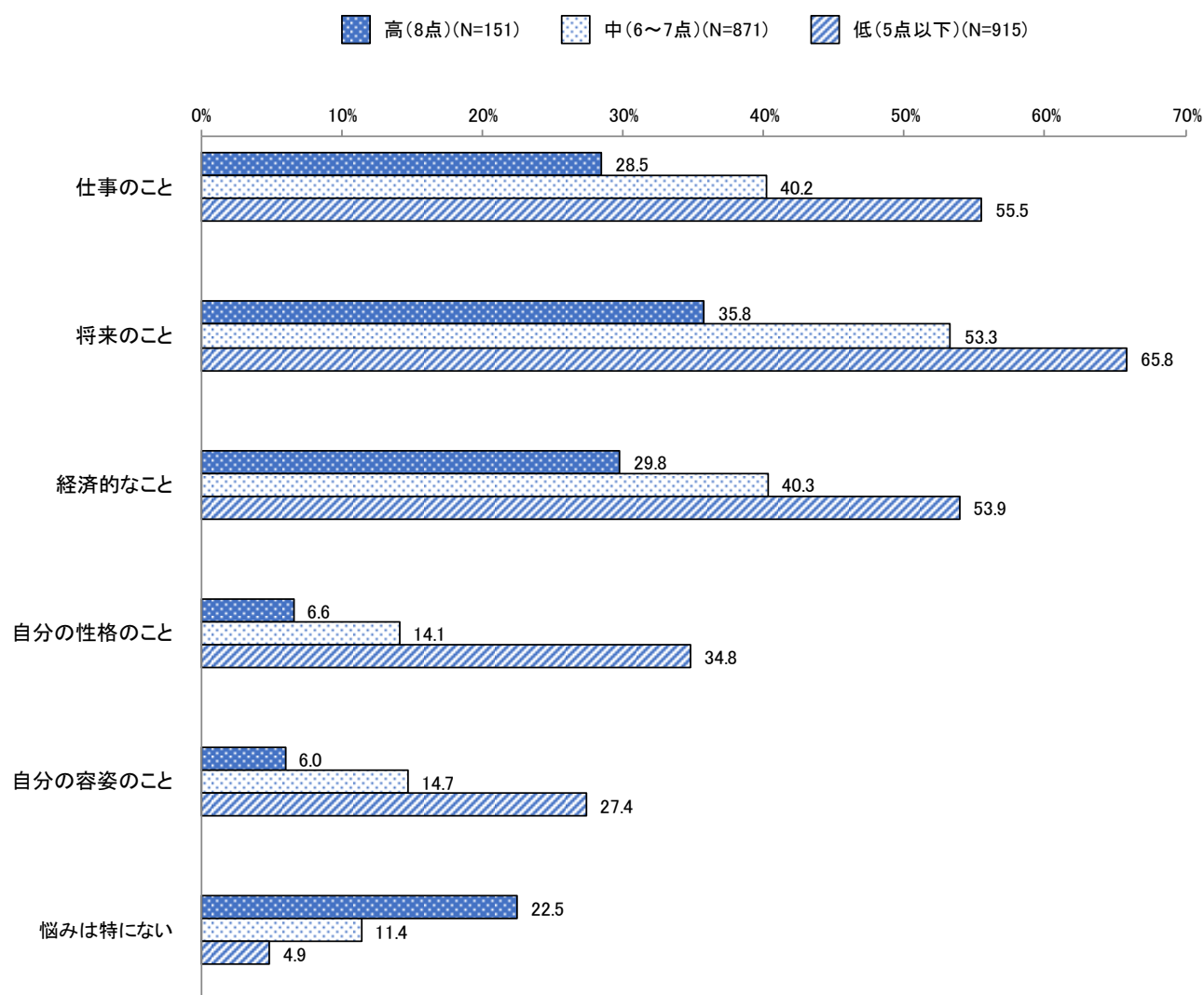
◇ 「将来のこと」が57.5%と最も多い。



『困っていることや悩んでいること（問 43）と自己肯定感（問 40・問 41）』

○ 「自己肯定感」が低い人は、困っていることや悩んでいることが多い。

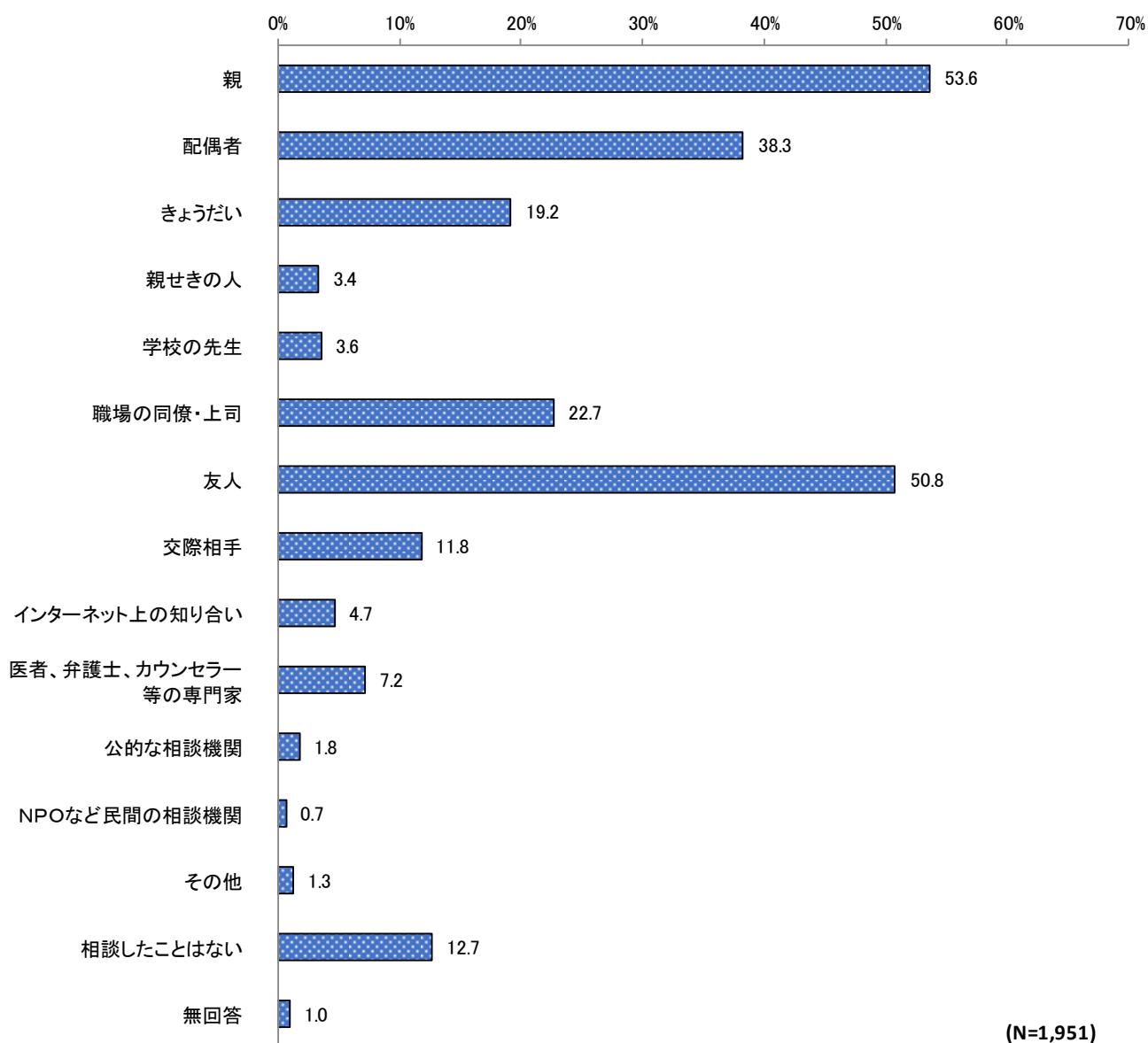
〈自己肯定感指標〉



困っていることや悩みを相談した相手について 【問 44】

■過去1年くらいの間に、あなたが、困っていることや悩みを相談した人はいいますか。
(複数回答)

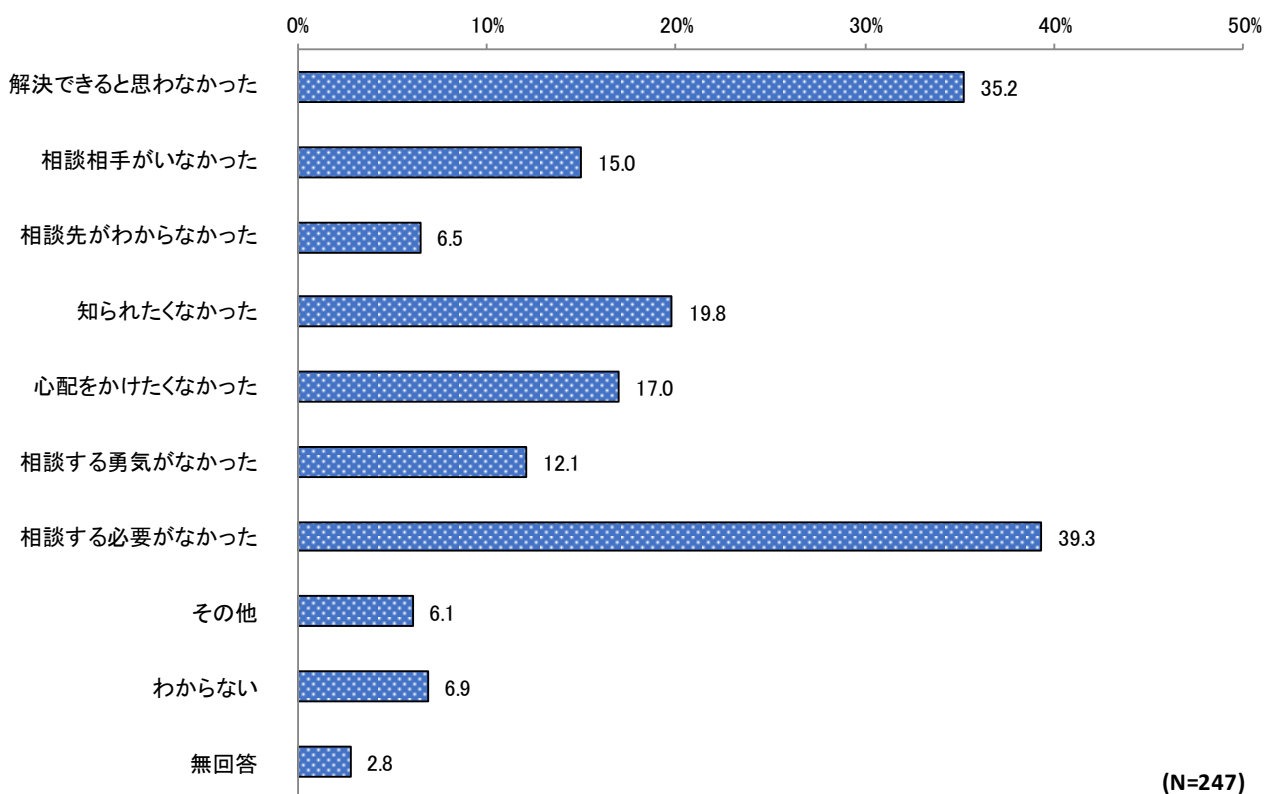
◇ 「親」が 53.6%と最も多く、次いで「友人」が 50.8%、「配偶者」が 38.3%となっている。



困っていることや悩みを相談したことがない理由について 【問 45】

■困っていることや悩みを相談しなかったのはなぜですか。(複数回答)

◇ 「相談する必要がなかった」が 39.3%と最も多く、次いで「解決できると思わなかった」が 35.2%となっている。



【前回調査との数値比較】

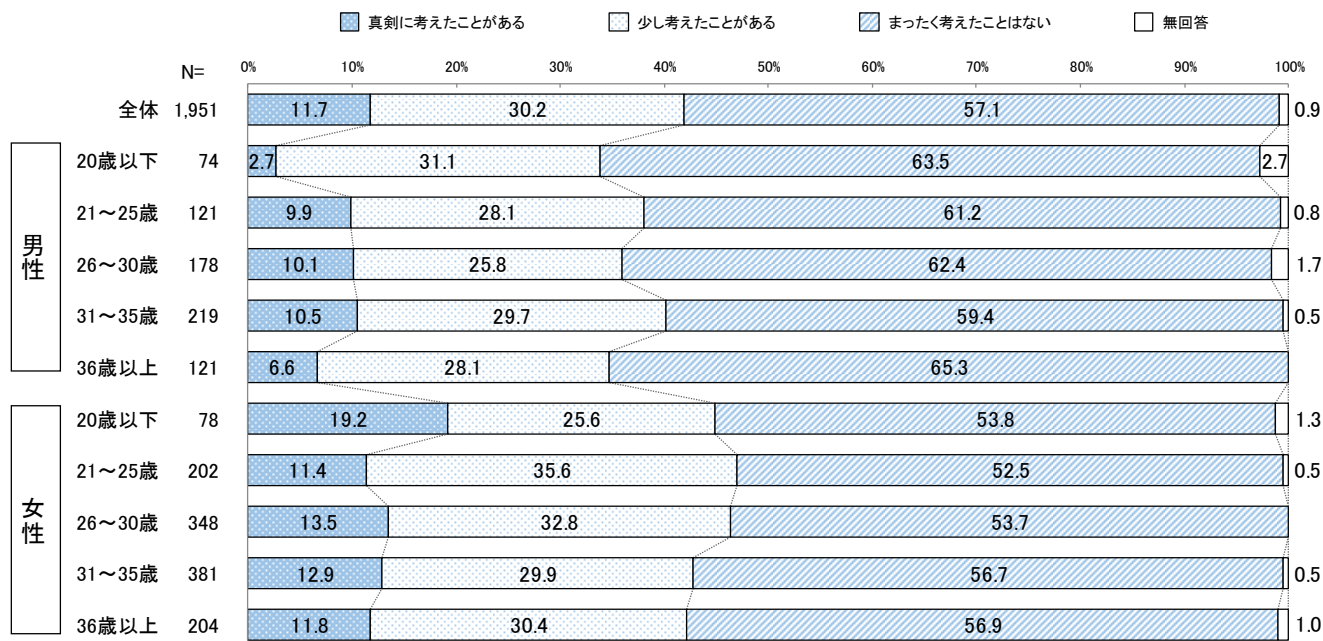
	相談相手がいなかった		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	17.1	15.0	▲ 2.1

知られたくなかった		
平成 30 年	令和 5 年	変化量
16.6	19.8	3.2

自殺を考えたことがあるかについて 【問 46】

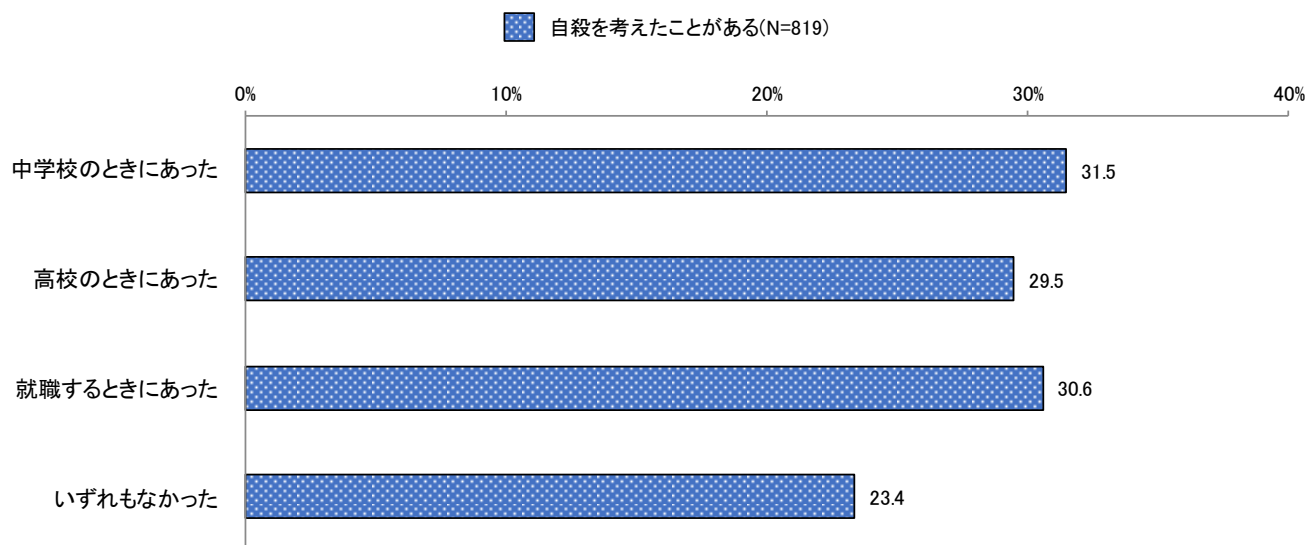
■これまで自殺を考えたことがありますか。

- ◇ 全体では、「まったく考えたことはない」が 57.1%、「少し考えたことがある」が 30.2%、「真剣に考えたことがある」が 11.7%となっている。



『自殺を考えたことがあるか（問 46）と進学・就職時の環境への対応について（問 32）』

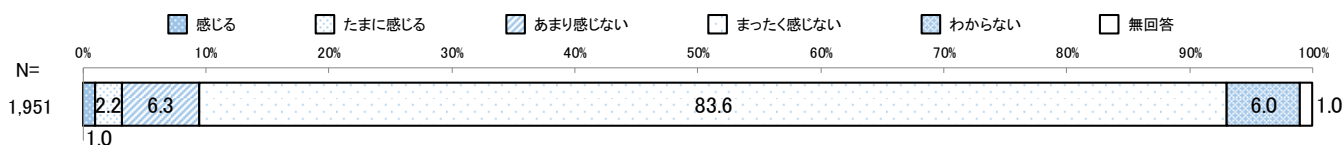
- ◎ 「自殺を考えたことがある」人は、進学・就職をしたときに、苦労したことが「いずれもなかった」人が 2 割強であるのに対し、「高校のときにあった」が 3 割弱、「中学のときにあった」、「就職するときにあった」がともに 3 割強となっている。



身体の性と心の性の違いについて 【問 47】

■身体の性と心の性が違っていると感じることはありませんか。（1つ）

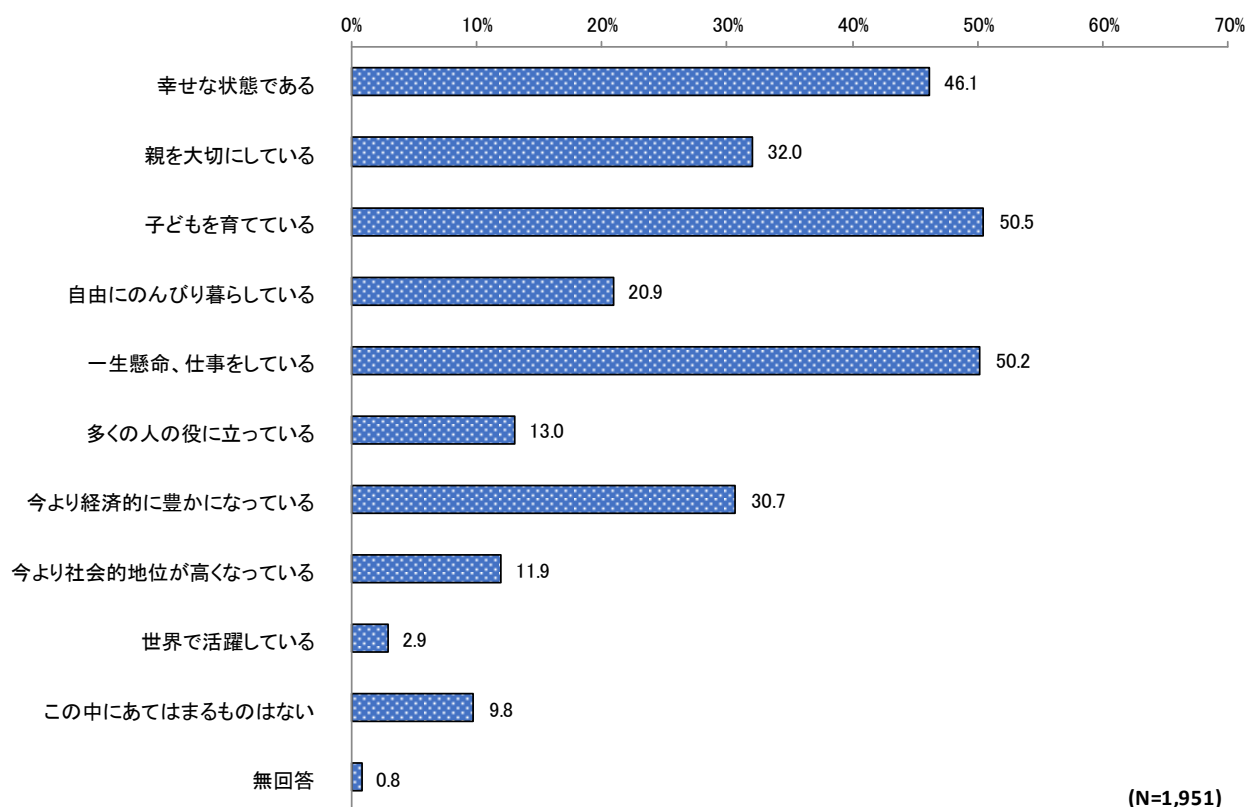
◇ 「たまに感じる」が 2.2%、「感じる」が 1.0%となっている。



5年後の自分のイメージについて 【問 48】

■5年後の自分をどのようにイメージしていますか。（複数回答）

◇ 「子どもを育てている」が 50.5%と最も多く、次いで「一生懸命、仕事をしている」が 50.2%、「幸せな状態である」が 46.1%となっている。



(N=1,951)

【前回調査との数値比較】

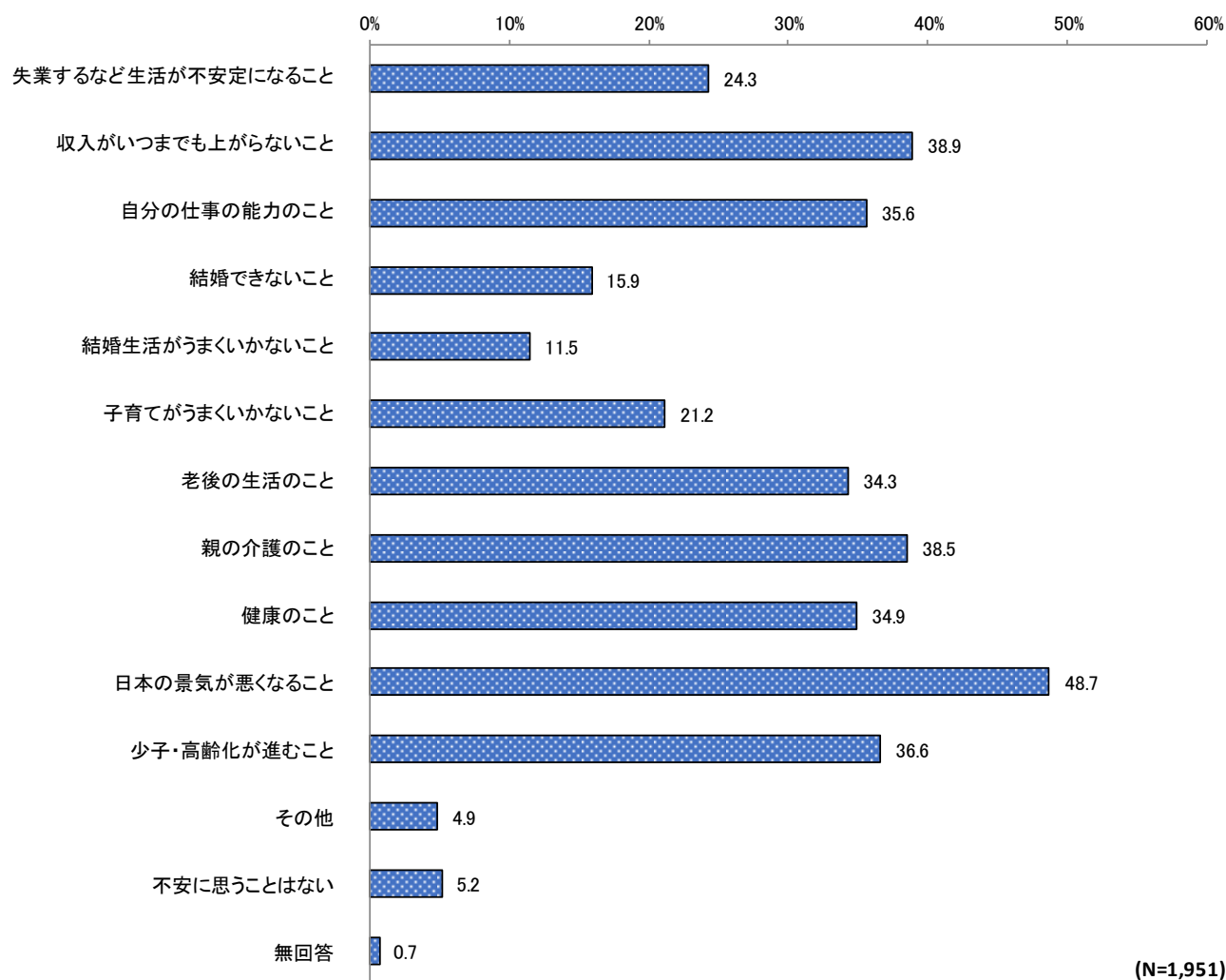
	幸せな状態である		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	51.6	46.1	▲ 5.5

	子どもを育てている		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	55.0	50.5	▲ 4.5

将来の不安について 【問 49】

■将来不安に思うことは何ですか。（複数回答）

◇ 「日本の景気が悪くなること」が 48.7%と最も多く、次いで「収入がいつまでも上がらないこと」が 38.9%となっている。



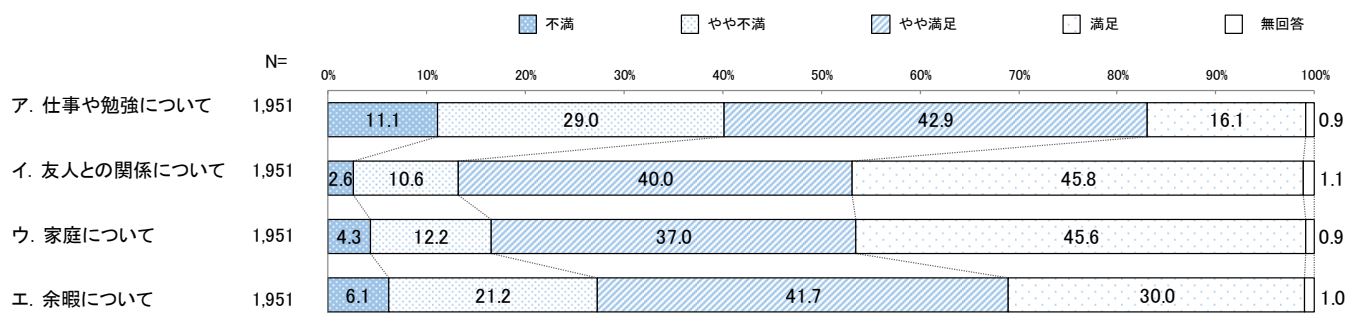
【前回調査との数値比較】

	親の介護のこと			日本の景気が悪くなること		
	平成 30 年	令和 5 年	変化量	平成 30 年	令和 5 年	変化量
全 体	44.2	38.5	▲ 5.7	35.5	48.7	13.2

今の生活に満足しているかについて 【問 50】

■今の生活に満足していますか。(各1つ)

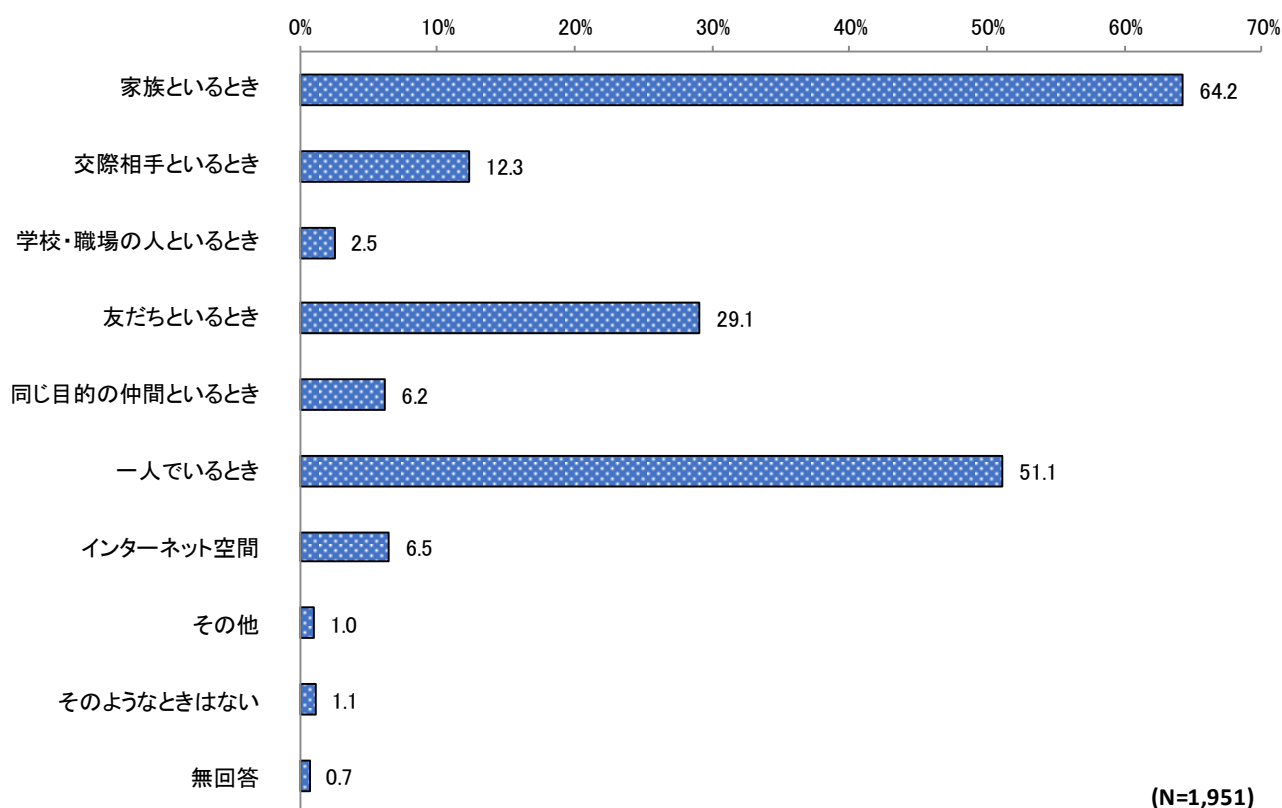
◇ 「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、「友人との関係について」が85.8%と最も多く、次いで「家庭について」が82.6%となっている。



よろこびを感じる状況について 【問 51】

■次のア～ウのように感じるときは、どのようなときが多いですか。(各2つまで)

ア. ほっとするとき

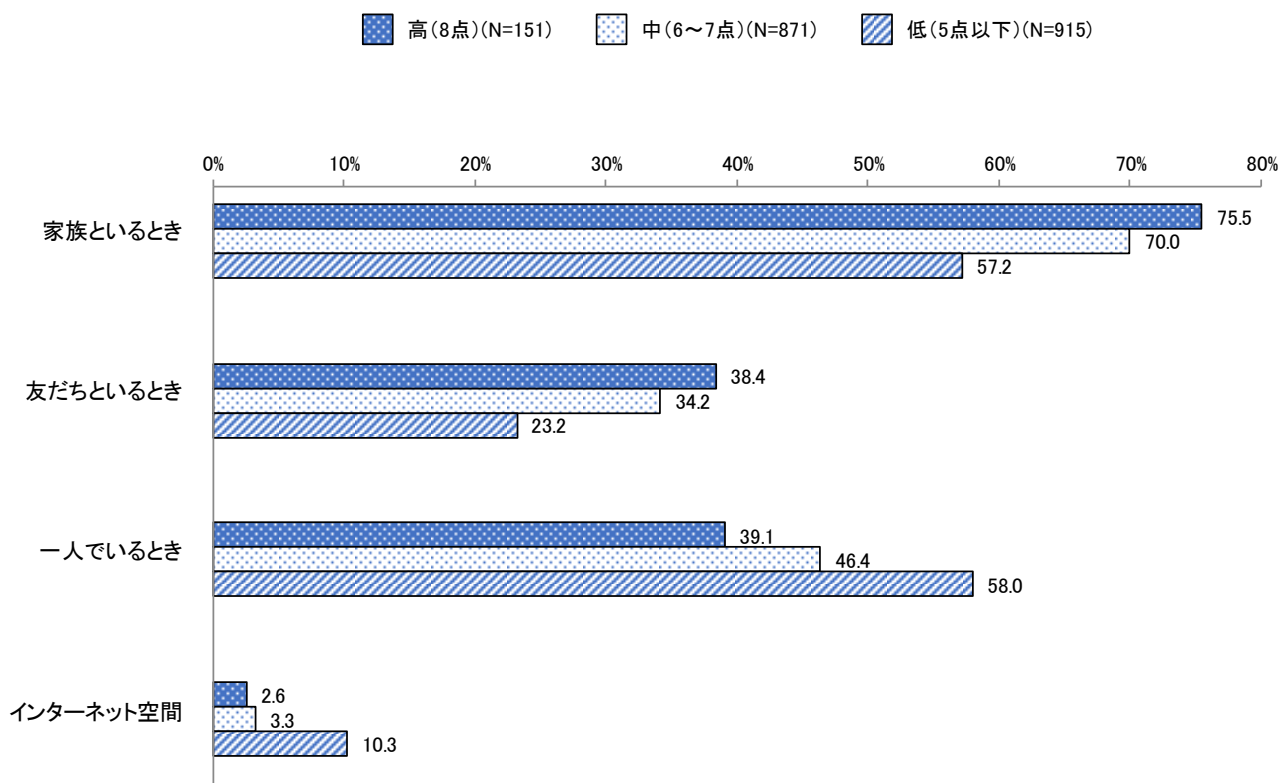


(N=1,951)

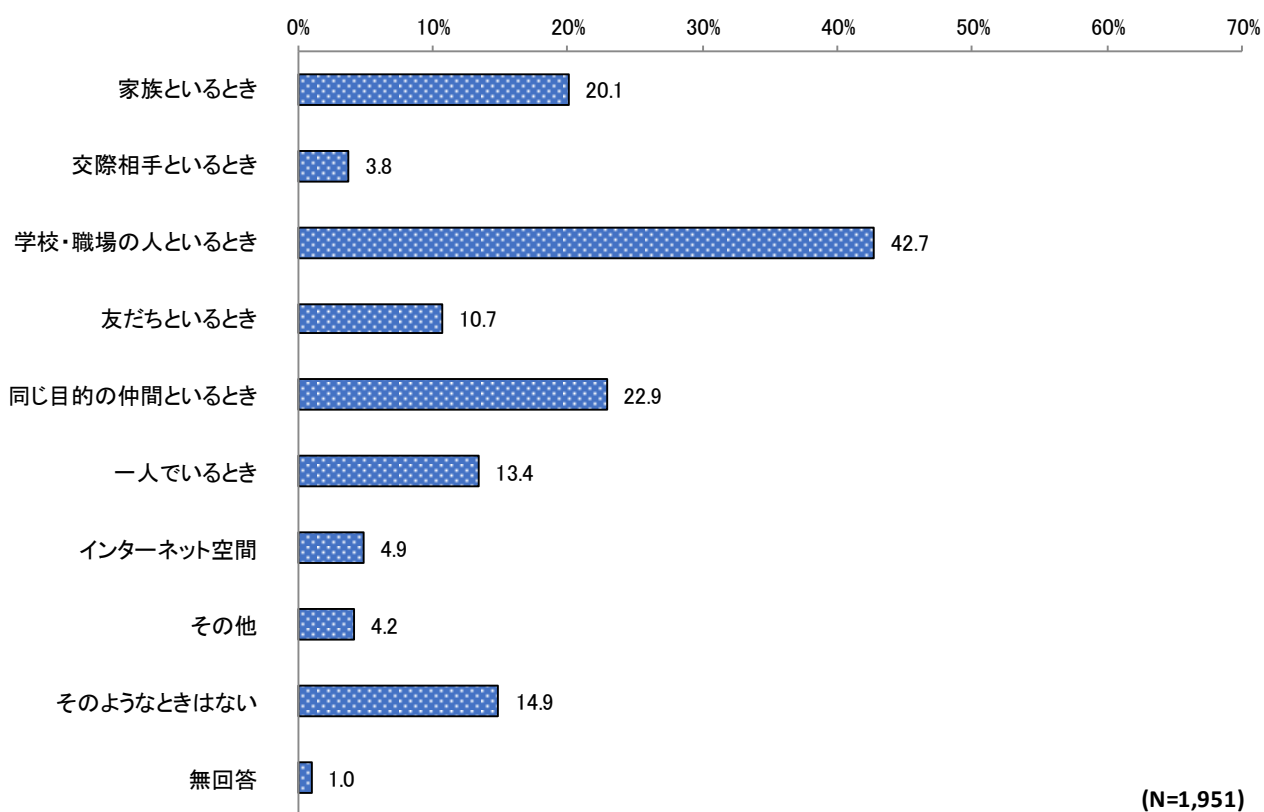
『ほっとするとき（問 51 ア）と自己肯定感（問 40・問 41）』

- 「自己肯定感」が低い人は、「一人でいるとき」と「インターネット空間」でほっとすると回答した人が多い。

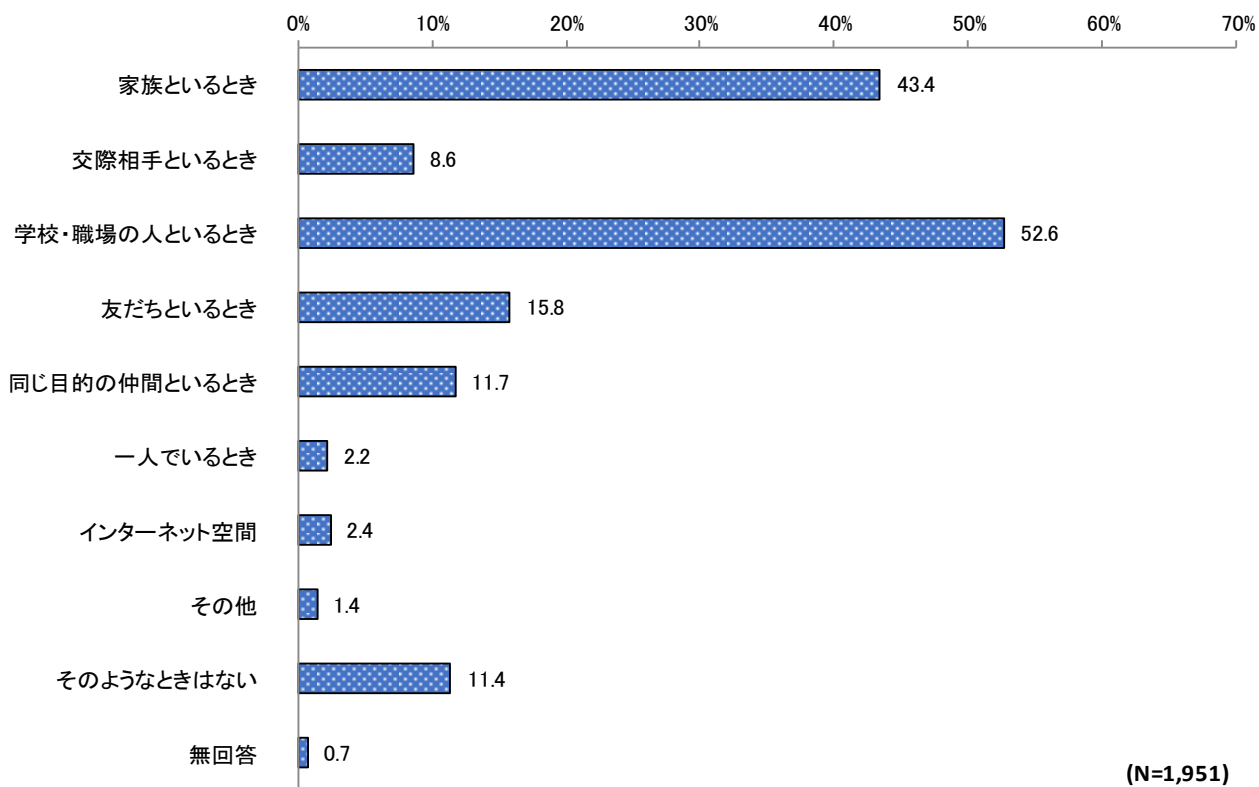
〈自己肯定感指標〉



イ. 達成感を持つとき



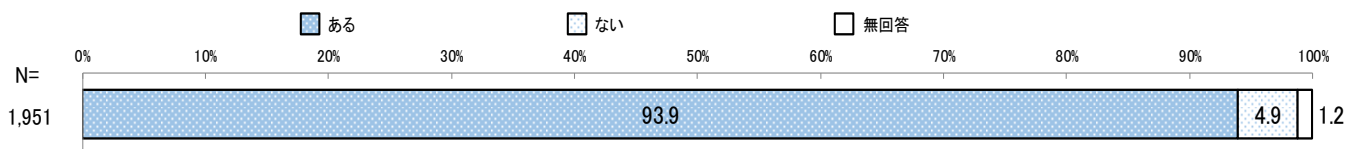
ウ. 自分が役立っていると感じるとき



居場所について 【問 52】

■ あなたにとって、居場所（ほっとできる場所、居心地のよい場所）はありますか。
（1つ）

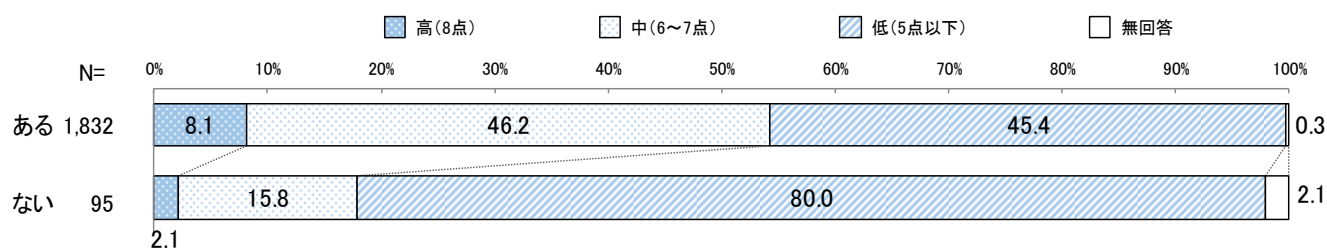
◇ 全体では、「ある」が 93.9%、「ない」が 4.9%となっている。



『居場所（問 52）と自己肯定感（問 40・問 41）』

○ 居場所（ほっとできる場所、居心地のよい場所）が「ある」人のほうが「自己肯定感」が高い。

〈自己肯定感指標〉

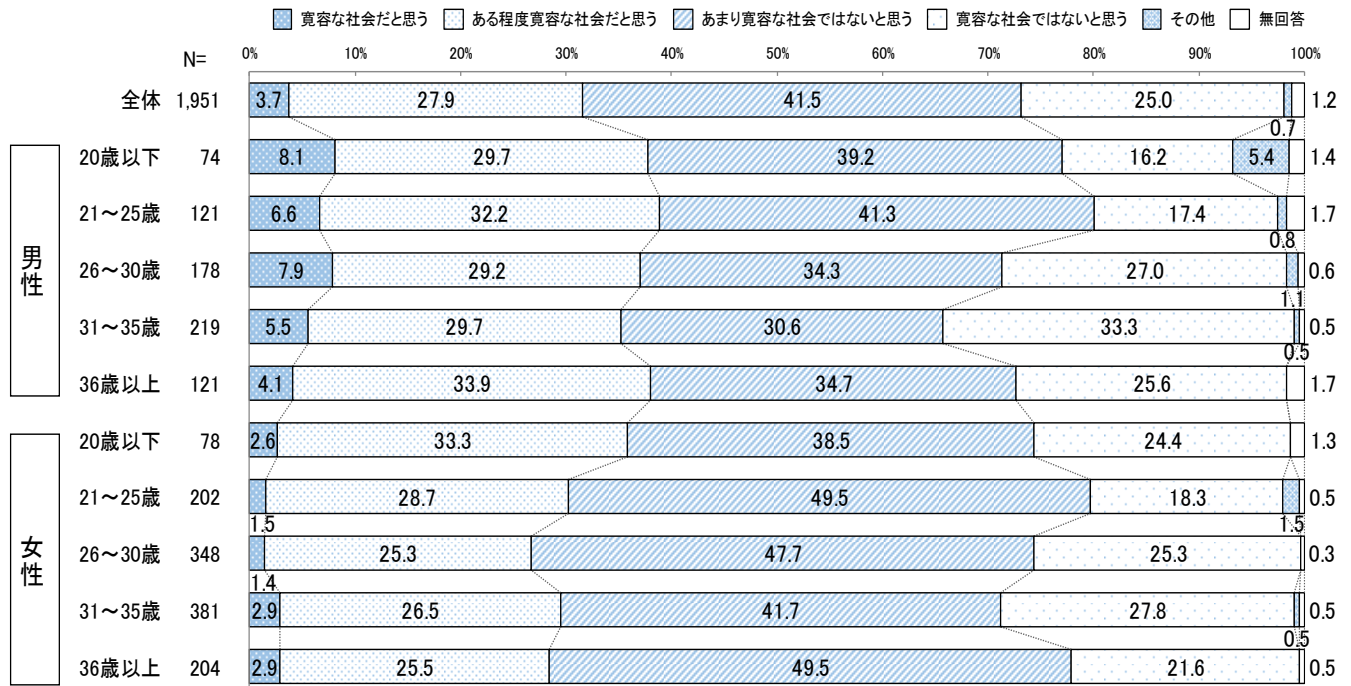


～今の社会に対する考え方に関する質問～

今の日本社会の寛容性について（意見・立場） 【問 53】

■今の日本の社会は、自分と意見や立場が異なる人を認める寛容な社会だと思いますか。
（1つ）

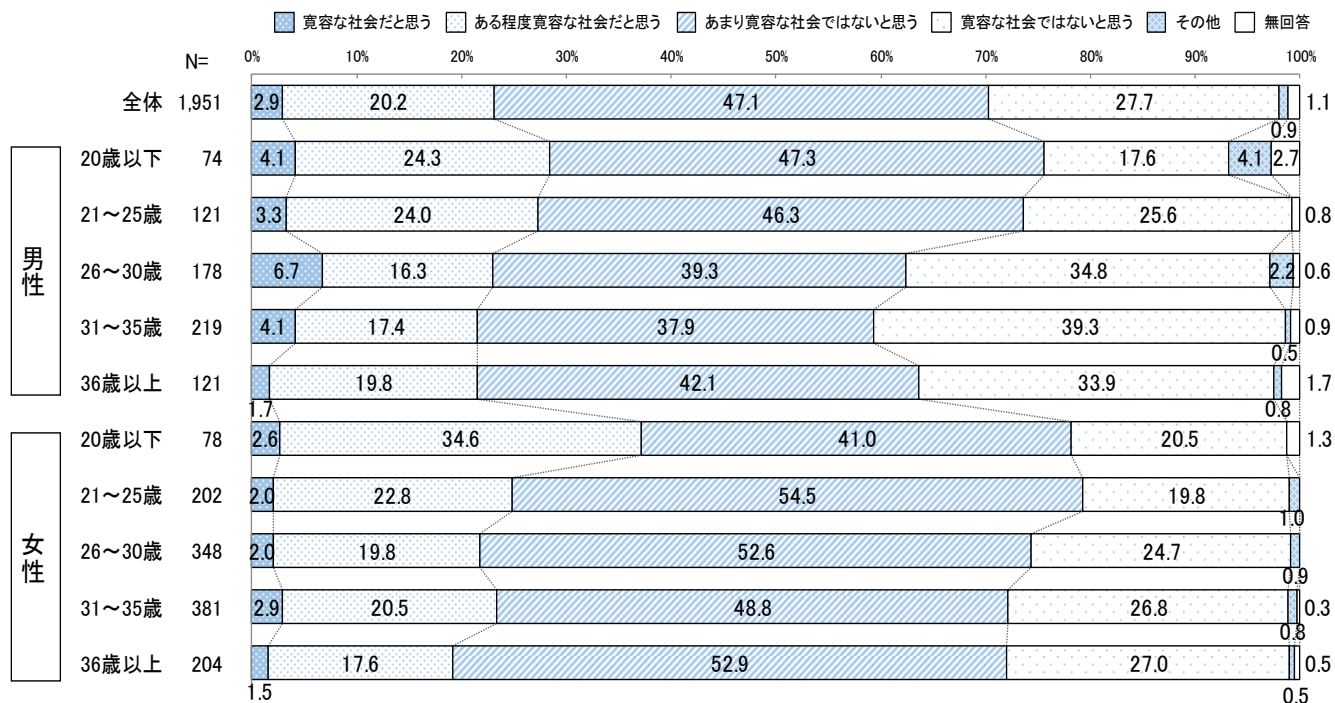
◇ 全体では、「あまり寛容な社会ではないと思う」が 41.5%、次いで「ある程度寛容な社会だと思う」が 27.9%、「寛容な社会ではないと思う」が 25.0%である。



今の日本社会の寛容性について（過ち・欠点） 【問 54】

■今の日本の社会は、他人の過ちや欠点を許せる寛容な社会だと思いますか。（1つ）

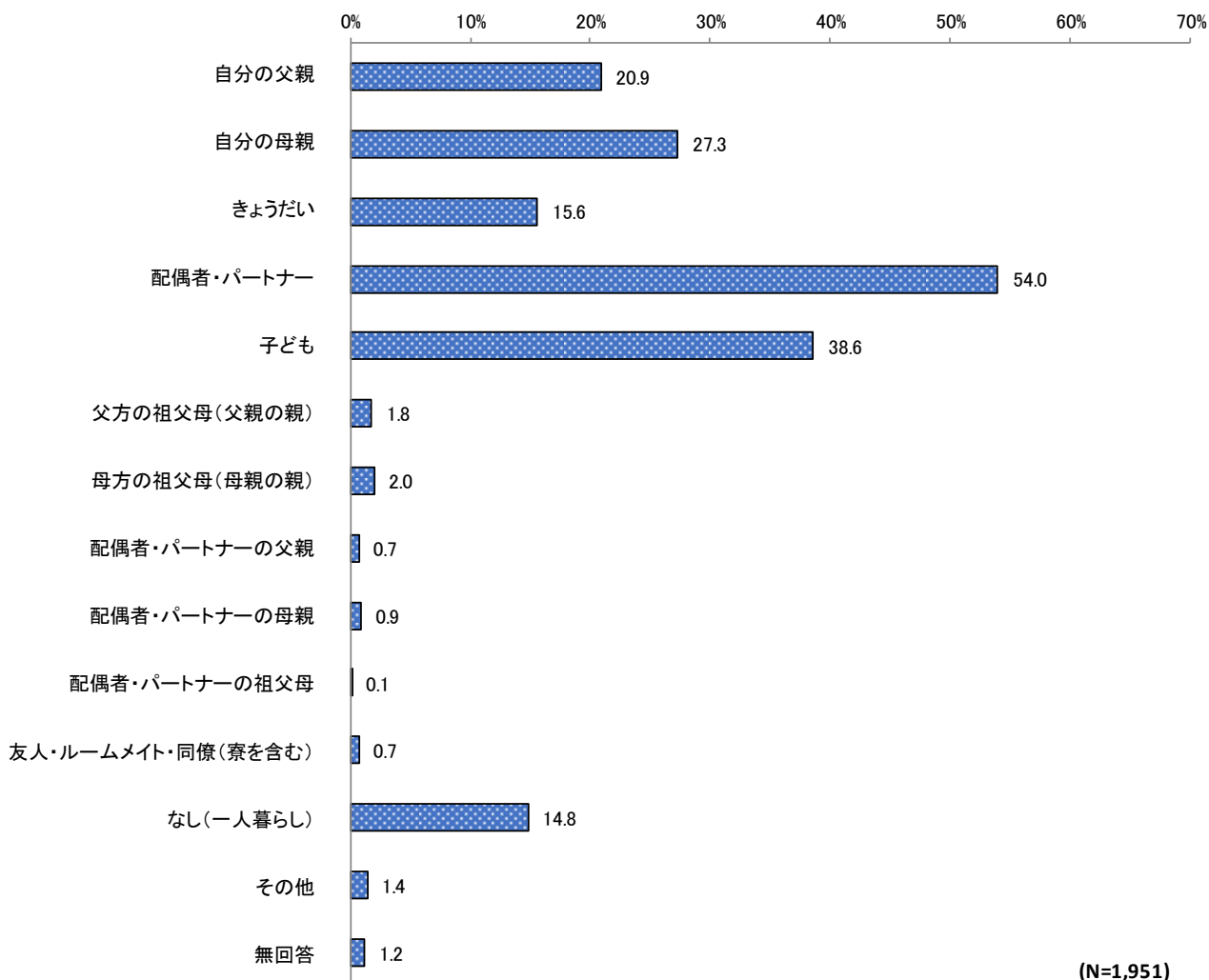
◇ 全体では、「あまり寛容な社会ではないと思う」が47.1%、次いで「寛容な社会ではないと思う」が27.7%、「ある程度寛容な社会だと思う」が20.2%である。



いっしょにお住まいの方について 【問 58】

■現在、あなたといっしょにお住まいの方は誰ですか。(複数回答)

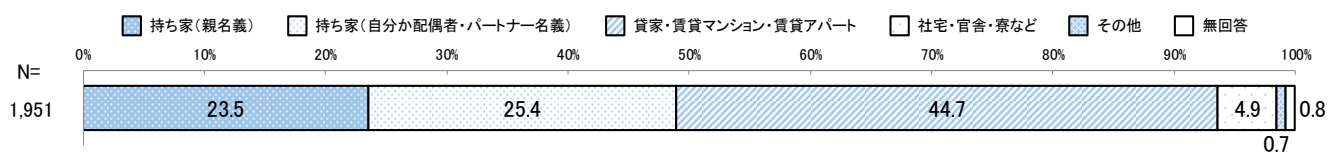
◇ 「配偶者・パートナー」が54.0%と最も多く、次いで「子ども」が38.6%である。



お住まいの住居について 【問 59】

■現在、お住まいの住居はどれですか。(1つ)

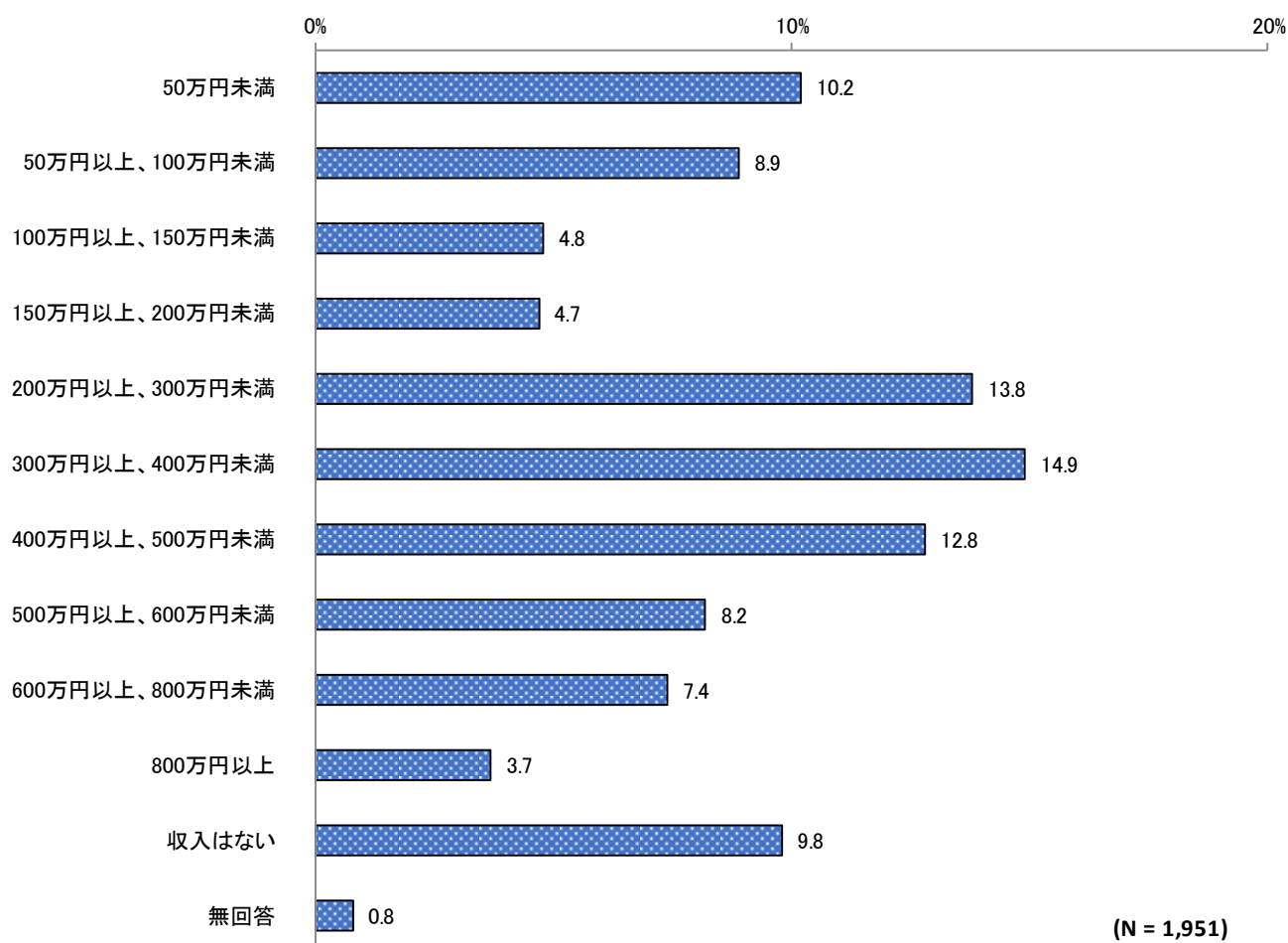
◇ 「貸家・賃貸マンション・賃貸アパート」が44.7%と最も多い。



あなた自身の年収について 【問 61】

■この1年間の、あなた自身の年収（税込みの収入）は、だいたいどれくらいでしたか。
（1つ）

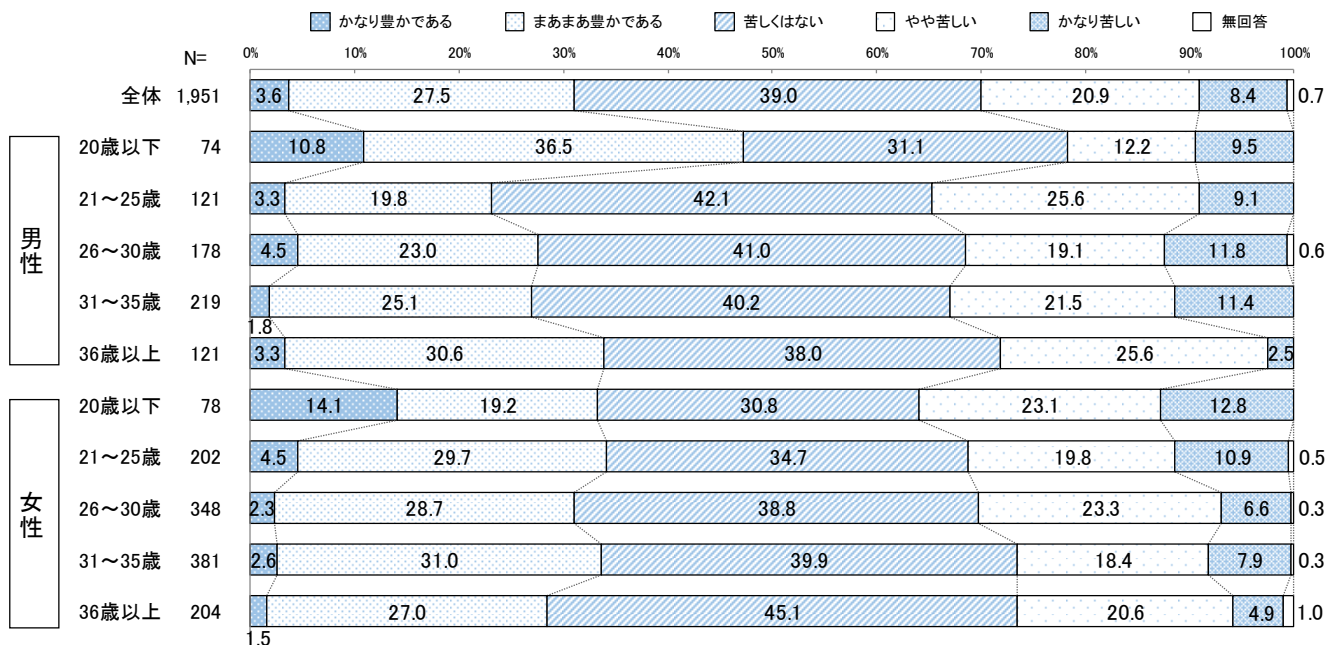
◇ 「300 万円以上、400 万円未満」が 14.9%と最も多く、次いで「200 万円以上、300 万円未満」が 13.8%、「400 万円以上、500 万円未満」が 12.8%、「50 万円未満」が 10.2%となっている。



あなたの経済的な生活レベルについて 【問 62】

■現在のあなたの経済的な生活レベルについて、どのように感じていますか。(1つ)

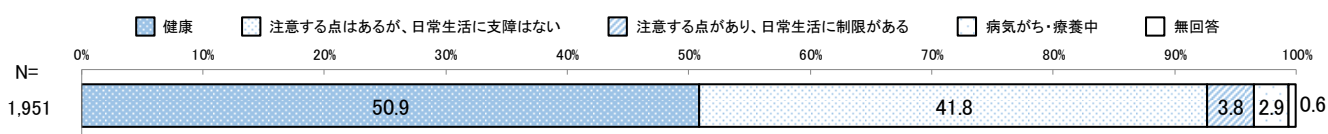
◇ 全体では、「苦しくはない」が39.0%と最も多い。



あなたの健康状態について 【問 63】

■現在のあなたの健康状態はどうか。(1つ)

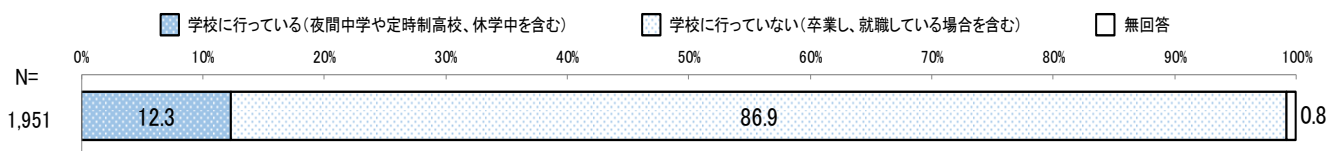
◇ 「健康」が50.9%と最も多く、次いで「注意する点はあるが、日常生活に支障はない」が41.8%となっている。



学校に行っているかについて 【問 64】

■現在、学校に行っていますか。(1つ)

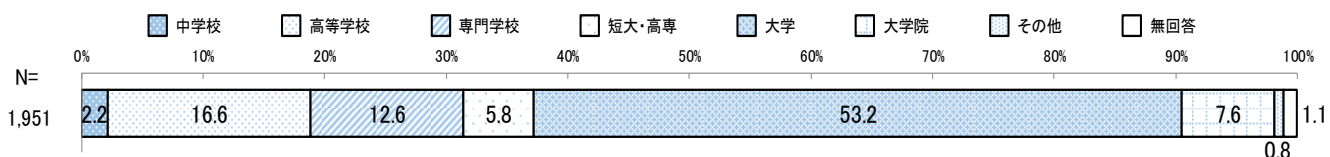
- ◇ 「学校に行っている（夜間中学や定時制高校、休学中を含む）」が 12.3%、「学校に行っていない（卒業し、就職している場合を含む）」が 86.9%となっている。



卒業した学校・通っている学校について 【問 65】

■最後に卒業した学校、もしくは現在通っている学校は何ですか。(1つ)

- ◇ 「大学」が 53.2%と最も多く、次いで「高等学校」が 16.6%となっている。



～自由意見～

すべての若者がいきいきと自立した生活をおくれる社会になるために、必要だと思われる支援策や環境整備、名古屋市に望むことなどを自由にお書きください。

- ◇ 「政治に関すること、行政への要望」が 58.4%と最も多く、次いで「収入・税等に関すること」が 15.4%、「社会・地域に関すること」が 8.6%であった。

表 若者の意見の概要・件数

	件数（件）	構成比（％）
政治に関すること、行政への要望	527	58.4
家族、家庭に関すること	2	0.2
社会・地域に関すること	78	8.6
教育・学校に関すること	49	5.4
就職、企業、働き方に関すること	53	5.9
子ども・若者の成長に関すること	10	1.1
収入・税等に関すること	139	15.4
その他	44	4.9
合計	902	100.0

主な意見は、以下のとおりである。

（１）政治に関すること、行政への要望（527 件）

- ・障害を持っている方においても経済的等に困ることがなく豊かに生活を送ることができるような支援制度があると良いと思います。
- ・引き続き、子供への支援をすすめていただければと思います。
- ・もっと子育て（特に母子家庭）の事考えて支援金等を増やしてほしい。
- ・本当に教育が必要な人達に平等に教育を受けられる様な支援策。
- ・子育て世代を政治に参加させてほしい。ほとんどの政策が的を外れている。
- ・学生支援や若者の医療支援の拡充。
- ・近年、物騒な事件や話を聞くことが多いが愛知県（名古屋市）は比較的に治安が良いと感じる。日々の取組のおかげだと思うので感謝したい。
- ・若者が発言、発信できるコンテンツを多く作る。
- ・敬老パスのようなシステムを、妊婦、子育て世代にも用意してほしい。
- ・若者や子育て世代に対する住居、住宅支援策。
- ・所得制限をなくした平等な子育て支援。一見所得が多くても住宅ローンや税金で手取りは少なく、生活が苦しい。
- ・多子世帯にもっと支援をほしい。2人親世帯も現状は家計的に苦しいのでその辺も視野に入れて経済的支援をしてほしい。

（２）家族、家庭に関すること（2 件）

- ・小学生のうちから、自立できるように学校、家庭、地域で子どもを見ていくことが大切だと思います。親がこれからを担う子どもを自立させていくためのセミナーなどもあったらいいのかもしれないと思いました。なんでもやってあげることがいい

訳じゃない、子どもに任せていく、信じて待つことが大切な気もするので、そういうことを知れる機会があるといいのかなと思います。若者がいきいきとするために、子どもが増える必要があると思います。名古屋市の子どもが増えていくことを切に願っています。

(3) 社会・地域に関すること (78 件)

- ・色んな人と交流が出来る場所、挑戦しやすい環境を作ってほしい。
- ・家庭以外での居場所作り。
- ・子どもの成長を助け合い、見守る地域のコミュニティ組織や仕組みの充実。
- ・LGBTQ+の無料交流イベントをもっと作って欲しいです。
- ・シニアがもっと活動しやすいといいと思います。
- ・公園、図書館、児童館をもっと増やす。夏など暑い時期に子どもが遊べる場所がない。
- ・「～すべき」という圧力でやりたいことを思い切りできずに過ごしているように感じる。自分の若かった頃は、周りの目を今ほど気にしなくてもよかった。

(4) 教育・学校に関すること (49 件)

- ・医学部の学生です。お金がかかります。奨学金の充実を希望します。
- ・奨学金の給付型の枠を増やし、社会へ出た時に（貸与型だった学生）の負担を減らし将来への不安を軽減させること。
- ・大学生への給付型奨学金の充実。スクールカウンセラーの常勤配置はありがたいです。ありがとうございます。
- ・学校では、親がいない、と知られると白い目で見られることがある。いろいろな家庭がある、ということを知って、理解してもらえるような教育の機会があってほしい（教師にも生徒にも）。
- ・小、中のいじめへの支援。障がいのある人と共生していく環境づくり（学校、地域等）。
- ・学校での取り組みで、もっと地域について学ぶ機会が増えるといいと思った。
- ・もっと学校などで“カッコいい大人”の話を聞いたり、そういうものに触れる機会があれば、自分の将来を受験などで時間に追い立てられる前によりイメージしたり、意志をもてたりするのではないかと思う。

(5) 就職、企業、働き方に関すること (53 件)

- ・仕事復帰しやすいよう子育ての理解を職場、社会、公共機関などに求めたい。
- ・結婚や出産が望めるような安定した雇用や収入が必要だと思う。
- ・出産後の正社員として就職する為の支援、情報提供。
- ・フリーターでも受け入れてくれる仕事先や未経験でも働ける場所。
- ・週休3日制度導入してほしい、時間にゆとりがほしいです。
- ・働き方の多様化や自由な考え方の受け入れ。育休・産休・生理休暇等の女性独特の休みの理解や取りやすさの推進。
- ・リモートワークなどの柔軟な働き方の推進、父親の育児参加の推進、社会からの理解がありがたい。

(6) 子ども・若者の成長に関すること (10 件)

- ・若者の社会的地位の早期確立。年功序列ではなく能力による人材の登用に寛容な社会。
- ・小中学生に対して、学校（教師）以外の大人と関わる機会を用意すること。
- ・育児にお金がかかる。
- ・親が遠方に住む核家族ですが、病児保育利用のハードルが高すぎます。結局はどちらかが休まなければいけない状態が常で、仕事を休むことで精神的に参ります。
- ・妊娠中はタクシーの利用券をいただき助かりました。

(7) 収入・税等に関すること (139 件)

- ・税金関係の支払いが高く苦しい。高額医療も使用しているのでそのような人への税金関係の支援など欲しい。
- ・高齢者だけでなく若者も大切にする市に。税金（社会保障）が高すぎる。
- ・給与が増えても税金によって手取り収入が全く増えない状況は改善してほしい。
- ・保育職の給料を増やして下さい。保育者の配置基準を増やして下さい。
- ・公務員の給与を上げるべきだと思います。有能な若者が、民間に流れてしまっています。公務員の待遇改善も大切です。

(8) その他 (44 件)

- ・ない。そもそも名古屋市が何をやっているのかが分からない。
- ・ひとりで生活するだけで時間も精神の余裕もいっぱいいっぱいだ。結婚や出産など無理だ。
- ・頭の良さ、裕福さなどが関係なく、選択肢が増やせるようになって欲しいです。
- ・私の知る限りでは若者が生きづらいような環境ではないので十分満足している。
- ・結婚、出産したらもらえる手当は有りますが、そのために結婚、出産しようとは思いません。